

滋賀縣人

第
200
号

発行所

一般社団法人 東京滋賀県人会

東京都中央区東日本橋3-6-20-205
電話 03 (3661) 1180 郵便振替 00180-4-26966
FAX 03 (3661) 5058

発行日 令和4年9月30日

発行人 小林洋一

Contents

- 会長挨拶 3
- 三〇〇号記念
三日月知事・小林会長 対談 4
- 三〇〇号記念寄稿 8
- 「滋賀縣人」で発掘！あこのころの県人会と滋賀 10
- 「と滋賀」新体制で2期目スタート 16
- 「と滋賀」新しく生まれ変わりました！ 18
- 投稿コーナー 20
- 甲賀市だより 23
- 東京滋賀県人会と私 24
- 森と湖、人の繋がりを守るために 25
- カメラで巡る近江鉄道の旅 26
- 酒蔵だより ④ 30

芸術の翼、はばたく。
滋賀県立芸術劇場

びわ湖ホール

Biwako Hall Center for the Performing Arts, Shiga



〈2022年 主な自主公演〉詳細はホームページをご覧ください。



**びわ湖ホール音楽アンサンブル
第76回定期公演**
プッチーニ作曲 歌劇『ジャンニ・スキッキ』
(演奏会形式／全1幕／イタリア語上演・日本語
字幕付)
11月19日(土) 14:00開演(中ホール)
指揮:大川修司 ピアノ:越知晴子 構成:中村敬一
一般3,000円 青少年1,500円 **チケット発売中**



坂東玉三郎 お話と素踊り
11月20日(日) 15:00開演(大ホール)
出演:坂東玉三郎(お話・素踊り)
富山清琴(三絃・胡弓・歌)
富山清仁(三絃・歌)
S席5,000円 A席4,000円 青少年2,000円
チケット発売9月24日(土)



**沼尻竜典オペラセレクション
ロッシーニ作曲 オペラ『セビリアの理髪師』**
(全2幕／イタリア語上演・日本語字幕付)
11月26日(土)・27日(日) 14:00開演(大ホール)
指揮:沼尻竜典 演出:栗園 淳
管弦楽:日本センチュリー交響楽団
S席11,000円 A席9,000円 ほか **チケット発売中**



**びわ湖ホール音楽アンサンブル
美しい日本の歌**
12月3日(土) 14:00開演(大ホール)
指揮:本山秀毅
管弦楽:京都フィルハーモニー室内合奏団
昭和、平成の懐かしい歌をお届けします。
一般2,500円 青少年1,000円
シアターメイツ500円 **チケット発売中**



野村万作・野村萬斎狂言公演
12月4日(日) 13:00／17:00開演(中ホール)
演目:『佐渡狐』『竹生嶋参』『首引』
S席6,500円 A席5,500円 青少年4,000円
シアターメイツ2,000円
チケット発売9月24日(土)



**びわ湖ホール
ジルヴェスター・コンサート 2022**
12月31日(土) 15:00開演(大ホール)
指揮:沼尻竜典 管弦楽:大阪交響楽団
独唱・合唱:びわ湖ホール音楽アンサンブル ほか
SS席8,500円 S席7,000円 A席5,500円
B席4,000円 ほか
チケット発売10月23日(日)

●びわ湖ホールチケットセンター

TEL 077-523-7136

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜15-1

10:00～19:00 火曜休館

※全席指定・税込。青少年は25歳未満。
シアターメイツは窓口・電話受付のみ取扱い。

びわ湖ホール

検索

<https://www.biwako-hall.or.jp/>

ご挨拶

一般社団法人 東京滋賀県人会 会長 小林 洋一



東京滋賀
県人会の皆様
さまには、ご
家族共々お
変わりなき
ことと拝察

し心よりお慶び申し上げます。

新型コロナウイルスが世界中に蔓延してから既に一年半以上になります。漸くワクチンの普及とともにある程度その拡散を抑制出来つつありましたが、最近になってまた強烈な変異株が出現して感染者が増えるなど、社会経済が元に戻るにはまだ相当な時間がかかりそうです。

そのような中で、去る二月末に突如ロシアがウクライナへ軍事侵攻するという、世界中が驚愕する出来事が発生しました。国としての尊厳を踏みにじり、ウクライナの人々の自由と人権を奪うこのロシアの暴挙が許されるはずがありません。一方、国内では七月八日に奈良で参議院選挙応援の為に遊説中だった安倍元総理が暗殺されるという、自由と民主主義国家の日本では絶対にあつてはならないテロ事件が発生しました。国内外とも混乱の極みに思えますが、こゝは人類の英知を結集してコロナパンデミックを鎮静化させるとともに、ウクライナでの戦争が早期に終結し傷ついた国家の復興が一日も早く開始されるのを希望したいと思えます。そして世界に平和

が戻り、人々が手を取り合えるような世の中の安寧を切に望みたいと思えます。

さて、この会報は昭和三十一年に発刊後、今号で二〇〇号という節目の記念号を迎えました。二〇〇号記念特集として、七月の知事選で三選を果たされた三日月知事にご登場いただきました。また四月二十九日にリニューアル・オープンした「ここ滋賀」の青田新所長にも色々とお話を伺っております。

令和三年度の県人会の活動は、令和二年度と同様コロナ禍により相当影響を受けたものの、甲賀市と長浜市からの交流・受託事業に加えて、従来通り「ここ滋賀」等でのイベントやAKINDO塾の開催を実施することが出来ました。

甲賀市とは歌舞伎座での物産展やポスター展の開催、「ここ滋賀」そして銀座メルサなどでの陶芸体験や甲賀茶のイベントなど様々な企画に取り組んできました。長浜市とは東京観音堂の設置や講演、秋の石田三成展などの企画についてご協力をさせていただきました。会員の皆さま方のご協力により感謝申し上げます。

本年度（令和四年度）の県人会の活動は、まず年次総会を九月三日に開催いたしました。十一月には二年ぶりとなる「近江ゆかりの会」を県との共催で開催する予定

です。その他にも、恒例の「ここ滋賀」でのAKINDO塾の開催や、甲賀市との受託事業など滋賀を舞台とする色々なイベントや企画などに取り組んで参ります。

また会員の皆様様々な情報を提供すべく、広報活動の一環として、会報と公式ホームページを引き続き充実させる予定です。東京滋賀県人会活動のご紹介、ふる里滋賀の市町のご案内、歌舞伎座さんとのコラボ、ふる里の様々な風景やスポーツ、更に滋賀県にゆかりのある多くの方々からの興味深い投稿記事を掲載していきたいと思えます。

先に触れたように、三日月知事が三選を果たされ、健康しが、MLGsや、ビワイチ、など高い目標が今後益々大きく展開されていくものと思えますし、また県民を挙げて取り組んでおられる「彦根城の世界遺産登録」という重要な目的もあります。今後とも我がふる里滋賀が、益々注目されていくのではと大いに期待しております。

最後に、会員及び関係各位の皆さまには、引き続き本年度もご協力をいただきながら、様々なイベントの開催と会員の交流に努めていく所存ですので何卒よろしくお願い申し上げます。ふる里滋賀と東京滋賀県人会の益々の発展と会員皆さまのご多幸・ご健勝を心から祈念申し上げます。

◎「近江ゆかりの会」開催のご案内

首都圏における滋賀魅力体験創造に向け、滋賀県ゆかりの人ネットワークの構築を図り、新たなビジネスチャンスの創出、「滋賀・びわ湖ブランド」の発信及びふるさと滋賀のファンづくりを目指して開催されてきた「近江ゆかりの会」ですが、新型コロナウイルス感染症の流行が強く影響により、今年度は滋賀県が実施する「関係人口創出イベント」に合わせて特別昼食会の形式で開催いたします。

例年とは違う形での開催にはなりますが、ゆかりの方々との二年ぶりの交流に加え、たくさんの方の「滋賀」に触れていただく機会になればと思います。万全の感染対策の上、会員の皆様にはご臨席賜りたくご案内申し上げます。

とき：令和四年十一月二十日（日）

十二時三十分～十三時四十五分（開場十一時三十分）

会場：東京ガーデンテラス紀尾井町カンファレンスルーム

東京都千代田区紀尾井町一―二

TEL 〇三―三三―八八―五五〇〇

会費：お一人様／五千円（三十九歳以下の方は三千円）

内容：受付開始／十一時三十分

開会：主催者挨拶／十二時三十分

びわ湖ホール声楽アンサンブルコンサート・お弁当（昼食）・お楽しみ抽選会／十二時四十分

琵琶湖周航の歌 清聴／十三時二十五分

ご懇談／十三時四十五分

主催：滋賀県

一般社団法人 東京滋賀県人会

後日お送りするご案内書裏面の申込書にて、お申込期限迄にお申込み下さい。

※会場でのアルコールの提供はございません。

※新型コロナウイルス感染症流行の状況により、日程・内容の中止または変更の可能性がございます。何卒ご了承くださいます。中止・変更の場合は別途告知いたします。

三選を果たして目指す、

ふる里滋賀の魅力発信とさらなる発展

令和四年八月五日 滋賀県庁にて
司会・植野 克美 専務理事

(植野) 本日は滋賀県知事選挙直後で特にお忙しい中、東京滋賀県人会会長との対談に貴重なお時間を頂戴し、誠にありがとうございます。最初に、小林会長より知事にご挨拶を申し上げ、その後本日の対談に進みたいと思います。

(小林) まずは、先日の知事選挙で三選を果たされたこと、誠におめでとうございます、心よりお慶び申し上げます。さて、今回東京滋賀県人会の会報が、発刊後二〇〇号という節目を迎えることにより、その記念号特別記事として知事との対談を企画しましたが、本日は大変お忙しい中お時間を頂戴いたしましたこと、あらためて厚くお礼申し上げます。

(知事) おかげさまで第三期目をスタートすることができました。しかしながら、コロナ禍、ロシアによるウクライナ侵攻、物価騰貴など課題山積であり、知事として県政を担わせていただくことに重責を感じています。

東京滋賀県人会さまが昭和二十四年に発足し、湖国の方々が首都圏で活躍されていることと、貴会の会報

がこの度発刊二〇〇号という節目を迎えられることは誠にめでたいことと思います。

(植野) ありがとうございます。

それでは、九月発行予定の東京滋賀県人会会報第二〇〇号記念号について、会長からお話しさせていただきます。

(小林) 東京滋賀県人会の会報「滋賀縣人」は、これまで多くの東京滋賀県人会の方々が、その時々県人会を取り巻く様々な行事やトピックスを六十有余年に亘って積み重ねて来られた、貴重な財産だと考えています。

東京滋賀県人会は一九四九年（昭和二十四年）に発足し、今年が発足後七十三年を迎えます。

会報第一号は、県人会発足後七年目の、一九五六年（昭和三十一年）に発刊されましたが、当時の県人会会長は村上義一さま、また滋賀県知事は森幸太郎先生で、元衆議院議長の前康次郎先生に顧問を務めていただきました。

会報第一〇〇号は発刊の二十八年後、一九八四年（昭

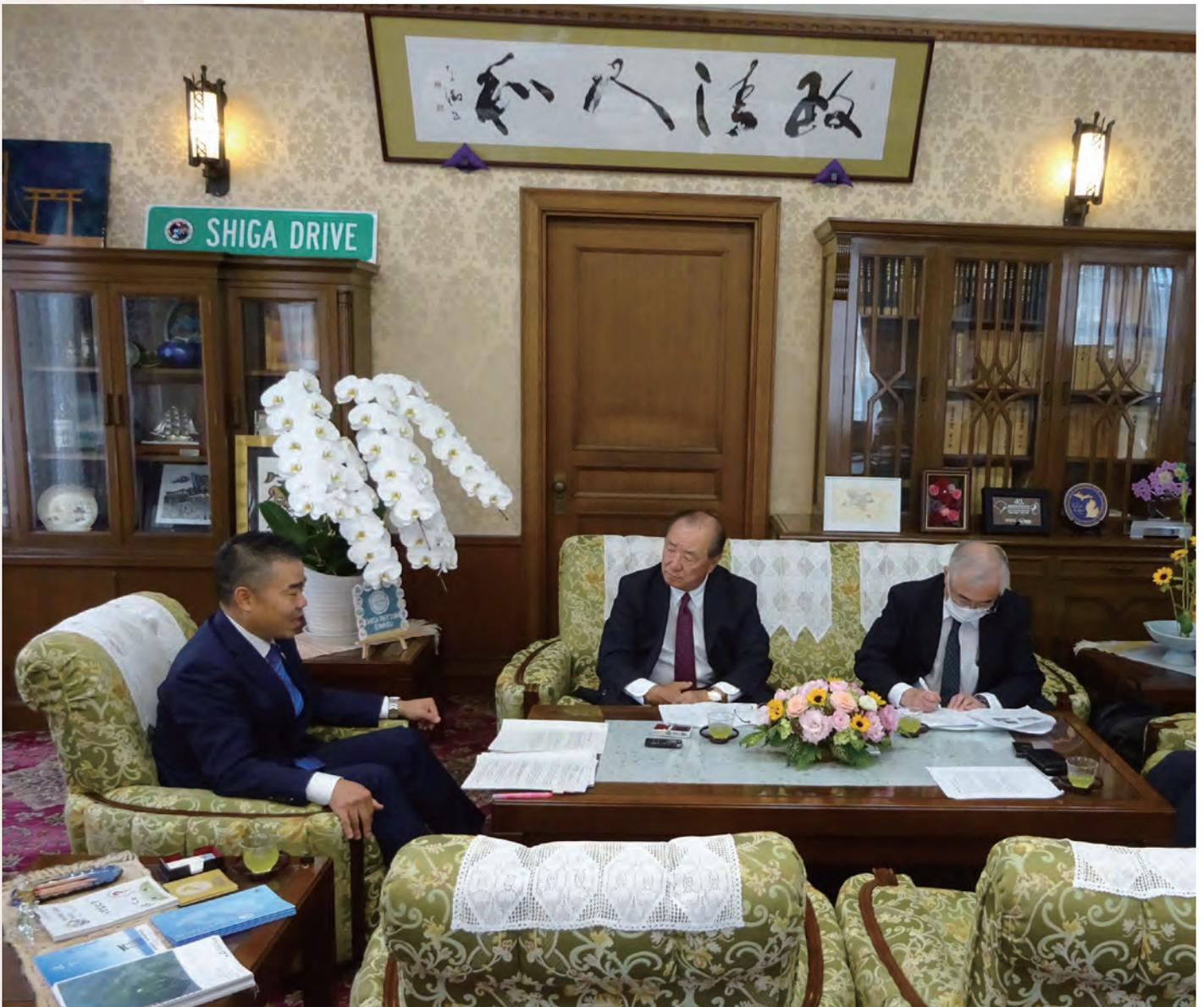
和五十九年）に発行されていますが、当時の県人会長は西川五郎さま、また滋賀県知事は武村正義先生でした。

そして、会報第二〇〇号を、第一号発刊から六十六年後となる今年二〇二二年（令和四年）、三期目に入られた三日月知事のご在任の時期に発行する運びとなりました。

これまで、会報を長年に亘り発行することが出来たのも、県人会会員のご協力に加えまして、歴代の県知事、国会議員、県会議員、県庁の皆さま方のご指導とご支援の賜物と思っております。県人会を代表して、あらためて心より感謝申し上げます。

(知事) 県人会が出来た昭和二十四年と言えば戦後まもなくの頃で、まだ大変困難な時代でした。そのような時代に県人会を設立され、数年後には会報発刊にこぎつけられたわけですが、過去の会報を拝見いたしますと素晴らしいことをやっておられています。あらためて、関係各位のご努力に敬意を表します。

私自身も学生時代を武蔵野市の「湖国寮」で四年間



(左から) 三日月大造知事、小林洋一会長、植野克美専務理事

過ごしました。その間、東京滋賀県人会の皆さまのご助力をいただきました。そのご縁を紡ぐことを大事にしたいと思えます。今後二百一号、二百五十号とこの会報の歴史が続くことを願っています。

(小林) ただいま、知事から非常に心のこもったお言葉をいただきました。かつて近江の国から関東へやってきた江州人は、精神的な支えである浄土真宗を拠り所としながらも、お互いに助け合いながら商売し、一方では後に続く子弟教育にも力を入れていたことが、湖国寮の設立につながったのではないかと思います。常々、先輩諸氏からお話を伺っていましたが、湖国寮の存在意義を再確認いたしました。

(知事) 「ふる里を忘れるな」と、同じ釜の飯を食べながら皆さま方のアドバイスをいただきましたが、今になってみますと、先輩などがおっしゃっておられたことが良くわかります。

(小林) 私共も、湖国寮のさざなみ祭やすきやきパーティに参加したこともあり、湖国寮には県人会も関心を持っています。

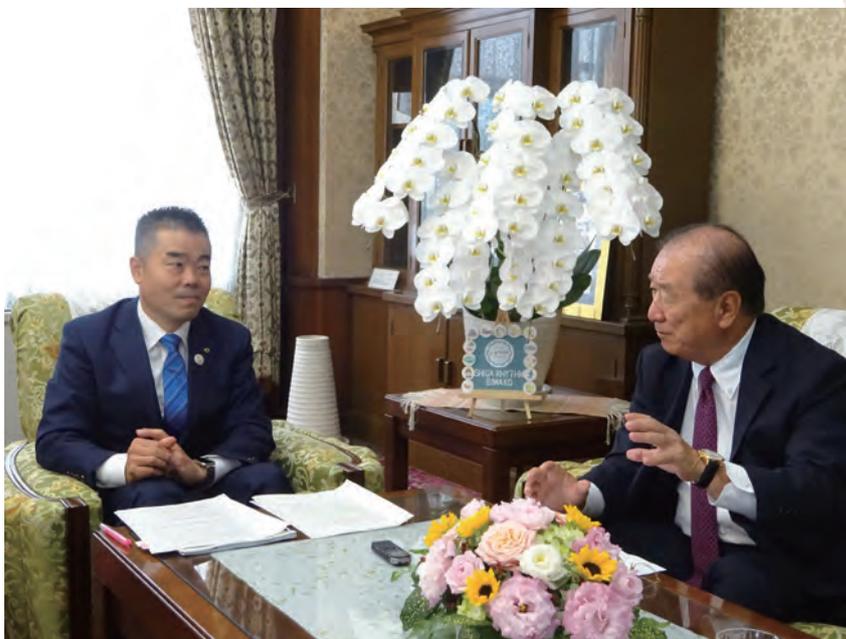
(植野) 貴重なお話をいただき、ありがとうございます。続きまして、開設後約五年が経過した「ここ滋賀」について、会長からお話しさせていただきます。

(小林) 「ここ滋賀」は、二〇一七年（平成二十九年）十月に三日月知事ご臨席のもと、首都圏での滋賀の魅力発信と滋賀への誘客を担う情報発信拠点として開設されました。

三日月知事の肝いりで、近江商人と縁の深いお江戸日本橋に滋賀県のアンテナショップが開設され、強力な滋賀県の情報発信拠点を得られましたことは、我々首都圏在住の滋賀県人にとりまして誠に喜ばしく思っています。

私共県人会としても、コロナ禍ではありましたが、オンラインを活用しながら多くのイベントや企画を実施して、「ここ滋賀」の事業を盛り上げてきました。それらの中には、近江牛のオンラインキッチン事業やビワマスの試食会、信楽焼実演会、甲賀茶のイベント、AKINDO塾など多くの講演・活動があります。

この春から「ここ滋賀」もリニューアルされ、新任の青田所長がエネルギーに動いておられますし、当会も内田副会長



が主導して各種イベントを企画しています。

今後とも、「ここ滋賀」をより魅力的な滋賀県の情報発信拠点にしていくために、私共も全面的に協力させていきたいと思います。

さて、「ここ滋賀」開設後約五年経ちましたが、知事の今までの総括及び今後の展望などをお聞かせいただけますと幸いです。

(知事) 首都圏に滋賀県の情報発信拠点を設けることは、知事第一期目の重要な使命でした。清水の舞台から飛び降りるような大きな投資でしたが、お蔭さまで「ここ滋賀」は大変好評で、二〇二二年（令和三年）六月時点で来客が百五十万人に達し、また来店した方の八割が滋賀県に魅力を感じている、九割の方が滋賀

県に是非行ってみたい、とのアンケート結果もあります。ただ、県産品の事業者が首都圏での販路展開をされる際のサポートや、効果的な滋賀県についての情報発信には課題もあります。

これまで首都圏の県人会さまには、「ここ滋賀」にすぐく応援、協力をいただいております。大変感謝しています。

「ここ滋賀」は、今回リニューアルし、店舗内の装飾などを改裝いたしました。滋賀にご案内するツアーの販売が出来るようになり、また商談会による販路の拡大、職業体験や毛利志満さんが精肉を販売するなどの新たな試みが好評をいただいております。この十月に五周年を迎えますので感謝しながら強気に滋賀を発信していこうと考えています。

(小林) 首都圏の県人会も、「ここ滋賀」への協力に加えて、滋賀県のために何かできないかを常々考えています。「大近江展」や「近江ゆかりの会」などのイベントが知事の強力なリーダーシップのもとで実施されていますが、それらの情報発信イベントには、首都圏や北関東、長野などの県人会の方々も参加し物品購入などで大きな協力をされています。

(知事) 「ここ滋賀」が、近江商人の根拠である日本橋に設置されたことには意義があります。家主も近江商人の先達を尊敬してお貸しいただいたと聞いています。

(小林) 「ここ滋賀」という愛称は、知事のご発案ですか？

(知事) いろいろな案の中から最終的に私が決めました。「どこ？ 滋賀」と言われないように「ここ滋賀」にしました。

(小林) 今後とも多くの人々に滋賀県に行ってもらえるような工夫が重要です。観光業は大切な収入源になります。

(知事) 現在、「シガリズム」というテーマで、滋賀

県をゆつくりと楽しんでいただくような観光を積極的に推進しています。コロナで狂ったリズムを癒すために滋賀へ行ってみたい人に、豊かな歴史・風土、素晴らしい伝統や文化に触れてもらう、いろいろな体験をしてもらう。水鳥の写真を撮ったり生魚を見てもらう、俳句を詠む、エリ漁体験、座禅を組む、テレワーク拠点など様々な形で滋賀を感じてもらいたいと思います。また、彦根城を世界遺産に登録するための運動も行われています。今後とも情報発信の仕方など県人の方にもアドバイスをいただきたいですね。

近江商人が唱えた「三方良し」は、今では世界に通用する精神、理念で、皆が良くなるという素晴らしい考え方です。滋賀県が世界のモデルになるように取り組みたいと考えています。

先般、「森・里・湖（うみ）」に育まれる漁業と農業が織りなす琵琶湖システム」が世界農業遺産に認定されました。漁業と農業が織りなすシステムが評価された点をうれしく思います。以前ベトナムのフック首相（当時：現在は国家主席）がG20で来日された際に、大阪で滋賀モデルについて話す機会がありました。農業国ベトナムもそのモデルを滋賀に求めたいと言われました。

(小林) 私も日本メコン地域経済委員会委員長のとき、フック首相とは何度も会っていますし、関西経済同友会農業改革委員会の委員長をしていたときに農業研究を行っていましたが、農業は日本にとって本当に重要な産業ですね。特に、昨今のロシアのウクライナ侵攻による小麦他食料などの価格高騰を見ますと、食料の安全保障という観点からも日本の自給率をもっと向上させる必要がありますし、そのためには日本の農業を更に強くする必要があります。

(知事) 農業のスマート化のためにも、もっと基盤整備が必要でしょうし、生産面の充実と同時にマーケティングへの志向にも取り組む必要があります。鮎の資源管

理をスマートフォンで行うとともに、販売面ではマーケットインすべく改革し、また資源の再生産の重要性も考えるべきと思っています。

(植野) 最後に滋賀県の魅力について、会長からお話しさせていただきます。

(小林) 東京から滋賀県を眺めていますと、滋賀県は他府県と比べても極めてユニークで、多くの素晴らしいものがあり、滋賀県の魅力を再認識させられています。

まずは、琵琶湖を中心とする豊かで美しい自然(四季折々の異なった魅力や風景、水と山々)ですね、メタセコイア並木など、新しい全国へのアピールポイントとなっています。

次に、日本の歴史に残る数多くの史跡や神社仏閣、お城とそれを取り巻く物語、連続と続く伝統と文化。

そして、洪水や津波や地震などの自然災害がほとんど無く、また特に鉄道と道路の交通インフラが良いため三大経済圏(京阪神、中京、北陸)の結節点として、地政学的に重要な社会経済拠点となっています。これまでの三日月知事の県政の結果として、自然環境、教育環境、更にはショッピング、医療設備などが益々充実してきており、京阪神への通勤も可能なことから、若いファミリー層の人口が高く、特に琵琶湖線沿線などは住みたい街としての移住希望が多いと伺っています。

知事は、これまで八年間に亘り、多くの分野における「健康しが」の施策を実行されてきましたが、今後の展望や方針についてお聞かせください。

(知事) 滋賀県は豊かな自然に恵まれ、四季折々の風景は素晴らしく、琵琶湖を中心として多くの恵みをもたらしています。一方で、歴史を振り返ると、縄文時代、弥生時代、大津京といった古代から鎌倉時代、戦国時代を通じて、多くのドラマの舞台となってきました。社会経済面では、多くの企業が進出した結果、工

業や琵琶湖を中心とする豊かな農業、その周りを取り巻く林業、琵琶湖にそぐ水の利など、本当に多くの魅力にあふれています。

鉄道については、敦賀・長浜間が新橋・横浜間に次いで日本で二番目に敷設されるなど交通の要衝であり、さらに高速道路の乗り降りをより便利にするため、スマートICの間隔を五キロ刻みになるよう設置し、県内の産業立地を整備していきたいと思えます。

滋賀県の人々は、大変親切で他人を自分と同様大事にする気風があります。それらはお地藏さんやお寺のお世話、汚れた水を下流に流さない、子ども食堂は日本が一番多いといったことに表れている素晴らしい滋賀県人らしさだと思います。別の面では、犯罪や交通事故の減少、コロナに負けず皆で取り組む姿勢などの面で常にその気風を感じています。

(小林) 是非、今後ともヤングファミリー層が住み着きたいと思える県にしていきたいと思えます。その意味では、医療も重要ではありますが教育はより大切です。保育園、幼稚園、小中高等学校も大事ですが、大学は産業振興という観点で更に重要です。京都には多くの有力な民間企業がありますが、それらは明治以降の、企業と多くの大学とのいわゆる「産学連携」が進むことで現在の発展に至っています。大学との連携により新しいものを作ること必要だと思います。

また、滋賀県へ多くのビジターを呼びイベントを開催することも大事ではないでしょうか。びわ湖毎日マラソンに代わる県内のイベント、琵琶湖を会場とするボートやヨット大会、ピワイチなどのサイクリングやトライアスロンを進めるとよいと思います。彦根の鳥人間コンテストなどは外国人が喜ぶイベントですね。

(知事) 県内には十三の大学がありますが、これ以外にも虎姫高のバカロレア教育、彦根工高のマイスター教育など高校での独自の取組も行われています。また、工業振興の一環として県立大と連携した工業高専

が二〇二七年(令和九年)に開設されます。スポーツイベントでは、びわ湖毎日マラソンに代わる新たな日本陸連公認大会「びわ湖マラソン」や、全国の中学校No.1を決める全中駅伝を開催し地域を盛り上げたいと思います。

(小林) 本日は、知事のご意見をいろいろお伺いし、誠に有意義な面談をさせていただきましたこと、あらためて厚く御礼申し上げます。

選挙直後で大変お疲れかと思いますが、どうぞお身体ご自愛いただきますようお願い申し上げます。

私共東京滋賀県人会といたしましても、滋賀県の応援団として、ふる里滋賀の発展の為に今後とも微力ながらご協力させていただきますので、引き続きご指導とご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



(左から) 山添みゆき観光振興局長、三日月知事、小林会長、植野専務理事

二〇〇〇号記念寄稿

東京滋賀県人会のさらなる発展を期待して

前東京滋賀県人会会長 東京滋賀県人会最高顧問

静永 純一



会報誌第二〇〇号記念出版、誠におめでとうございます。第一回は、昭和三十一年の発行で、今から六十六年前になります。

振り返りますと、この年の経済白書には、「もはや戦後ではない」という有名な言葉が登場し、本格的な経済復興が始まった時期であります。以来、日本は大きな発展を遂げ、今日に至っていますが、昨今はご承知のとおり、コロナの拡大、ウクライナへのロシアの侵攻、深まる米中対立と、数々の課題に直面しております。

こうした中で、滋賀県は着実に発展をしており、人口では一九九〇年の一二万人に比べ、二〇一九年は一四一万人に増えています。しかも、平均寿命が男性は八一・七八歳で全国一位、女性も八七・五七歳と全国四位であり、さらに、健康寿命が男性八〇・三九歳（全国二位）、女性八四・四四歳（全国三位）となっています。このように健康な人が多いのは、タバコを吸う人が少ない（男性一位）、スポーツをする人が多い（男性二位、女性六位）などによるものとされており、日本一の健康県と言えるでしょう。

東京滋賀県人会におかれては、小林会長のリーダーシップの下、活発な活動を展開されていること

に、改めて敬意を表する次第であります。私が会長時代にスタートした日本橋の「ここ滋賀」も五年を迎え、順調に客足も伸びております。最近、館内のレイアウトを一新し、二階には、新たに「毛利志満」さまが出店されました。先日は、そこでAKI NDO塾が開催されるなど、イベント会場として活用されているのも、嬉しく思っています。

県人会のホームページ「いま滋賀」もぜひご覧いただきたいと思えます。最近では、YouTubeやFacebookともリンクしており、様々な情報発信が行われています。首都圏の各県人会との連携が強まっているのも、大変喜ばしいことと思っております。

諸般の情勢は、大変厳しいものがありますが、近江の人々が培って来たあらゆるものへの感謝の気持ちを忘れず、三方よしの精神で様々な苦難を乗り越えて行きたいと思えます。県人会の益々の発展を心よりお祈りいたします。

私の人生と東京滋賀県人会

元農林水産大臣 東京滋賀県人会特別顧問 岩永 峯一



私と東京滋賀県人会とのご縁は六十年前にもさかのぼります。

私二十二歳、滋賀県青年団体連合会（県青連）の会長在任中のことであります。瀬田の唐橋、中の島に青年の殿

堂青年会館を建設しようと財源を募集している時に県人会にお願いに上京しました。当時専務理事であられた国領嘉一氏に大変御世話になりました。私共の趣旨に大きく賛同いただき県人会傘下の東京財界人を紹介いただきました。

お一人は堤義明氏であります。「私が会社で出せる寄付の最高額は五〇〇万円だ」と西武グループからの寄付をいただきました。

又元県人会会長の村上義一元運輸大臣（当時日本観光連盟会長）にも紹介いただきました。

「すばらしい事業だ。私の机の上に趣意書を置き事ある毎に青年のみなさんの活躍を吹聴し御願している」と御力添えをいただきました。西川産業社長西川甚五郎氏にも紹介いただき会館ホテルの寝具すべてを現品でいただきました。

こうした御尽力で目的が達成でき私の二十六歳の時一九六七年立派に竣工しました。

こうした県人会の御尽力が滋賀の青年（当時組織人員二万人）と県人会との心のきずなを結ばれました。当時青年会館は県人会の出先とも思われる程深い親交でした。

今度は国領さんから私共に、西武のオーナーで衆議院議長の職におられた堤康次郎さんの銅像を建てたいのでその準備室を青年会館におきたいとのこと、青年会館の事務長辻さんを準備室長にし、財源集めや建設の御手伝いをさせていただきました。

以来県人会の皆様がふるさと滋賀めぐりをされる毎にその御手伝いや青年との交流会も催したことをなつかしく思い返しています。

私も県会議員から衆議院議員に当選し上京することとなり、そのつながりは深くなり中西正一専務理事には大変な御世話になりました。私の東京後援会

の立ち上げから政策発表会等、東京での私の活動は県人会あつてのものだと感謝しております。

前県人会会長の静永純一さんには、共に信楽出身者であることもあり、東京後援会長を私の在任中ずっと引き受けていただきました。

又、内田真由子副会長は、代議士初期から応援いただき県人会と私の深いつながりの連絡役をしていただいています。

特に滋賀県に対する対応や御役にたつことがあれば何でもさせていただいて特別顧問としての御役までいただきました。

現会長の小林氏とは特に深い親交をもたせていただき、滋賀に帰県される毎に状況報告をいただく等公私に渡り力になりあう仲とならせていただいております。その中で二つの特筆すべきことは、県人もかつての滋賀出身者の東京での集合体から滋賀の若手経営者が東京における取引や、情報発信収集等の県人会の事業に参加されたり、滋賀にいながら県人会の若手役員として、新しい県人会像を求めて頑張っておられる等、新しい風が吹いていることです。いまひとつは滋賀県の各自自治体が県人会を通じて各市町のPRや東京を舞台にした事業を展開する拠点として県人会がそのお世話をする等ふるさと事業も展開しておられることです。

例えば歌舞伎座との交流や在日各国大使館に滋賀のPRをする等活动は多岐に渡っております。私も参加させていただき勉強させていただきました。

こうして新しい時代に向かった県人会に大いに期待しております。

会誌二〇〇号発刊にあたり私の人生のそばに東京滋賀県人会があつたとの思いを新たにし回顧録とさせていただきます。

「滋賀縣人」発刊二〇〇号に寄せて

元衆議院副議長 東京滋賀県人会特別顧問 川端 達夫

東京滋賀県人会会報「滋賀縣人」の発刊二〇〇号を心からお祝い申し上げます。

東京滋賀県人会にご縁をいただいたのは、一九八六年七月衆議院に初当選した私を早速八月の県人会夏祭りにお招きいただいた時からでした。東京プリンスホテルのガーデンはほぼ貸し切り、江州音頭総踊りには滋賀からバスを連れて婦人会の皆様が揃いの浴衣でご参加という盛大なものでした。夏祭りとお正月の年賀会を中心に様々な機会に県人会の皆様と交流させていただきお世話になりました。改めてご厚誼に感謝申し上げます。

さてNHK大河ドラマの第一作は昭和三十八年の舟橋聖一「花の生涯」でした。薩長明治政府の史観の影響か、それまでやや厳しい評価気味の井伊直弼公が一躍全国の脚光を浴び評価が一変したきっかけのドラマだった気がします。舞台はもちろん彦根です。その後も信長、秀吉、家康、「江戸姫たちの戦国」、

「麒麟が来る」の明智光秀……枚挙にいとまがありません。そして「鎌倉殿の十三人」、果たして鎌倉と近江はどんな糸で繋がっているのでしょうか。

近江繋がりやを少し調べてみました。なんといつてもみんなに愛され続けている判官最良の源義経公、兄頼朝公の力になるべく鞍馬寺を出た牛若丸は東下りの途中、鏡の宿（滋賀県竜王町）近くの池で元服をして、義経が誕生。またこの源義経・範頼軍に粟津の戦い（滋賀県大津市）で討たれた朝日將軍こと木曾義仲公のお墓は義仲寺（大津市）にあります。そして墓石の左隣には巴御前の塚。右隣には義仲公を敬愛してやまなかった本人の遺言により俳聖松尾芭蕉の墓があります。近くには芭蕉の門人島崎又玄「木曾殿と背中合わせの寒さかな」の句碑も。そして源氏に滅ぼされた平氏、壇ノ浦の合戦後、一門の大將平宗盛と息子の清宗が鎌倉から京都へ送られる途中近江篠原で殺され平家が果てました。「平宗盛卿終焉の地」の石碑と石仏がひっそり立っています（野洲市）。次から次へとゆかりの地が出てきます。

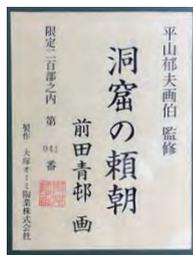
また二〇二四年の大河ドラマは、紫式部が主人公の「光る君へ」だそうです。彼女が源氏物語の構想を練ったと伝えられる石山寺、光源氏のモデルではとされる源融が閑居し後に祀られた融神社（共に大津市）今から楽しみです。

ふるさと滋賀は歴史の宝庫、山紫水明豊かな自然に囲まれ、美味しい食べ物、近江商人はじめ時代を切り開く進取の気象に富んだ温かい人たち、皆素晴らしいです。会員の皆様折に触れ故郷滋賀に思いを寄せ、機会を作って訪れていただけることを願っています。

最後に東京滋賀県人会の益々のご発展と会員各位のご健勝をお祈りし結びといたします。



信楽焼の陶板画と



滋賀縣人

で発掘！

あのころの県人会と滋賀

現在年二回発行している東京滋賀県人会の会報「滋賀縣人」は、今号をもって記念すべき通算二〇〇号を迎えました。

東京滋賀県人会は、戦後間もない昭和二十四（一九四九）年に設立され、また会報第一号は昭和三十一年（一九五六）年に発行されました。それから現在まで、時代の流れや県人会活動の変化に合わせて内容の変遷はありましたが途切れることなく発行され続け、今回晴れて発足後七十三年目での第二〇〇号発行となりました。

このコーナーでは、過去の会報の中から目を引くトピックスが掲載された号を抜粋し、活力と希望にあふれた当時の県人会・日本の空気を感じ取っていただきたく一部をご紹介しますと思います。

『極物語』などの題材となった樺太犬タロとジロを南極に連れていったまさにその隊でした。戦後日本の国際的な学術活動への復帰の象徴である第一次南極観測隊に数多くの滋賀県人が参加されていたことは、誠に感慨深いものです。

・昭和三十二年前半の主な出来事
二月…岸信介内閣成立

◎第三号（昭和三十二年（一九五七）年四月）

第一号、第二号は「東京滋賀県人会報」として発行されましたが、第三号から現在の会報名である「滋賀縣人」となりました。当時の村上義一会長（参議院議員、運輸大臣などを歴任）による題字は、この時から現在まで変わらずに受け継がれています。

主要な記事では、県人会の社団法人認可申請を行ったこと及び、新たに県人会館の設置を検討する動きについて伝えています。東京滋賀県人会の登記は、昭和

三十二年三月十二日に完了し、県人会活動組織体として全国で最初の「社団法人」となりました。また、県人会館については約二十一年後の昭和五十三（一九七八）年に完成しています。

中段の写真は、戦後初となる第一次南極観測隊の帰国を伝える写真ですが、吉川虎雄東大助教授（甲賀市出身…のちの第六次南極観測隊長）他数名の滋賀県人が参加されていました。この観測隊こそが映画『南



第3号 滋賀県人会 社団法人となる

県人会の拠点として利用されました。県人会は、その後三年間の建て替え期間中の仮事務所時代を経て、平成二十七年（二〇一五）年に以前と同じ場所に新築されたマンション（グランスイート東日本橋スクウェア）の二〇五号室に新たな事務所を設立して現在に至ります。

一面には県人会館並びに同居する東日本橋真宗会堂維持財団のお仏壇の写真が大きく写っていますが、このお仏壇は現在でも県人会事務所のシンボルとして、毎月の月例法要や年に一度の物故者法要の際に人々が集う場であり続けています。

・昭和五十三年前半の主な出来事
五月・新東京国際空港（現成田国際空港）開港

◎第二十二号（昭和三十八（一九六三年十一月十一日）

◎第六十二号（昭和四十九（一九七四年六月二十日）

この二つの会報には、それぞれの時期に完成間近・完成間もない、滋賀県の交通の要となる重要な施設の写真が掲げられています。

第二十二号には、同年七月に供用開始されたばかりの名神高速道路大津インターチェンジと、翌昭和三十九（一九六四）年九月二十八日に開通する琵琶湖大橋の建設中の姿が写されています。

日本の経済発展と近代化の象徴である東京オリンピックは昭和三十九年に開催されましたが、それに合わせて東海道新幹線や首都高速道路・名神高速道路など多くの高速道路が建設されました。名神高速道路の全線開通は昭和四十（一九六五）年ですが、関東と関西を結ぶこの物流の大動脈の完成により、多くの企業が滋賀県に進出し、工業団地や販売拠点の建設など滋賀県の産業化に多大な貢献をしました。

また、琵琶湖大橋の開通は、湖東と湖西を道路で繋ぐことにより、両岸の産業と人々の交流を圧倒的に加速させることになりました。

第六十二号は、同年七月二十日に山科駅ー近江塩津駅の区間で開業することになる、湖西線の試運転写真です。関西経済圏と北陸経済圏を結ぶ高速路線として建設された湖西線は、踏切がなく高架やトンネルを多用する高規格路線として、時速一七九・五キロメートルの在来線最高速度記録（試験運転による）を現在でも保持しています。

日本経済の高度成長に際して建設された多くのインフラに五十年以上の歳月を経ての老朽化が目立つ令和の現在、これらのインフラの維持・管理をどうするか、日本全国で大きな課題になっています。人口減少・少子高齢



大津インターチェンジ併設の大津サービスエリア。実は日本初のサービスエリアです。



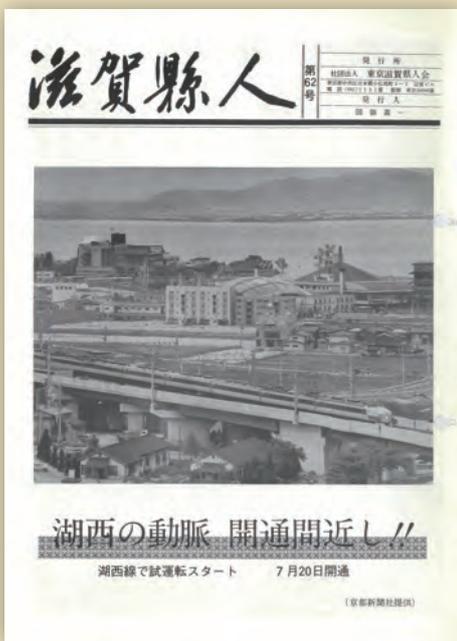
第22号 たくましい湖国近代化のひびき

化が急激に進む中で、現状維持でさえ困難な面はありますが、完成当時の先人たちの郷土発展への夢と希望を時に思い返しつつ、豊かな国土を守っていかねばならないと思います。

・昭和三十八年後半の主な出来事
十一月・ケネディ大統領暗殺事件
十二月・力道山刺殺事件
・昭和四十九年前半の主な出来事
三月・小野田寛郎陸軍少尉、フィリピン・ルバング島から帰還



湖西線を走る特急サンダーバード



第62号 湖西の動脈 開通間近し!!



第83号 成功させようびわこ国体



第90号 びわこ国体(秋季大会)開幕 目前に迫る!!



第100号 滋賀県人100号発行に際して

◎第八十三号(昭和五十五(一九八〇)年二月二十日)

◎第九十号(昭和五十六(一九八一)年九月十九日)

昭和五十六年に開催された第三十六回国民体育大会(びわこ国体)の前後の号では、第一回近畿国体以来の滋賀県での国体開催への盛り上がりが伝えられています。びわこ国体では三十六競技が実施され、滋賀県が天皇杯(男女総合優勝)、皇后杯(女子総合優勝)を獲得しました。

令和七(二〇二五)年には、再び滋賀県で第七十九回国民スポーツ大会・第二十四回全国障害者スポーツ大会(愛称「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」)が開催されます。正式競技三十七競技、特別競技・公開競技など計二十七競技と、びわこ国体の時よりもさらに多くの競技が県内各地で行われる予定です。

・昭和五十五年前半の主な出来事

五月・日本、同年七月から開催のモスクワオリンピック

・ピックへの不参加を決定

・昭和五十六年の主な出来事

十一月・沖縄県でヤンバルクイナが発見される

◎第二〇〇号(昭和五十九(一九八四)年五月二十六日)

節目の号となる第一〇〇号は、当時の県人会を支えた多くの方々からの祝辞が寄稿された記念号になっていますが、その中に前年十月ブラジル・サンパウロで開催された第二回滋賀県人会世界大会についての報告が掲載されています。世界大会は昭和五十六年に第一回大会が天津市で開催されたことにはじまり、以降平成十九(二〇〇七)年の第十一回大会(天津市にて開催)まで、世界各地で開催され、各国の二世、三世を含む多くの滋賀県人達の貴重な交流の場となっていました。

日本を取り巻く経済環境の大きな変化や、参加者の高齢化と各県人会の会員数減少などもあり、今のところ第十一回大会が最後となっていますが、いつかまた世界の滋賀県人やその末裔が一堂に会する日が来ることを願っています。

・昭和五十九年前半の主な出来事

三月・グリコ・森永事件

ご紹介した号のほかにも、「滋賀県人」二〇〇号の



第2回滋賀県人会世界大会

積み重ねの中には、移り変わる日本の世相を反映した号やそのバイタリティに目を見張る県人会の活動、くすりと笑えるトピックスが沢山ありました。それらについても、今後ホームページ「いま滋賀」でご紹介できればと考えています。今回過去の会報を振り返ることで、いつか二五〇号、三〇〇号発行の際にも「二〇〇号前後の会報からは令和の頃の県人会の空気を鮮明に感じられた」といわれるようにと、編集部一同、今後の会報づくりへの決意を新たにいたしました。

空き家バンク

県人会は、滋賀県下の「空き家」の仲介（無料）をしています。空き家の所有者・管理人から「空き家情報」の申し出を受け、空き家情報を東京はじめ近隣の各県人会の会員に紹介しています。

鮭の会

毎月第一火曜日を定例開催日とし、滋賀に所縁のあるマスコミ各社、滋賀県、ここ滋賀、さらに首都圏の各県人会が一堂に会し、イベントの実施予定など周知情報を持ちより、首都圏での情報共有化、マスコミへの取材要請などに努めています。二年間コロナ禍の影響を受け開催を自粛しておりましたが、七月五日（火）に開催、久方ぶりの顔を合わせての会に、積もっていた情報の交換が盛んに行われました。八月、九月は再度の感染拡大を受け、開催を見合わせています。

幹部会

令和二年七月一日（水）を皮切りに、毎月一回ペースで会長、副会長や専務理事、常務理事等が当会の主要活動の推進や組織強化、全滋連、関東ブロックへのかかわり方などを議論する幹部会をスタートしました。現在まで、「ここ滋賀」などにおけるイベントの推進、会報やHPの改善策が具体化されています。

ここしばらくは、三密を避けるため、リモート形式で実施しています。今年度は、八月九日（火）に第一回を開催、近江ゆかりの会や理事会議事についての打ち合わせ、補助金の活用策について議論しました。

善男善女

善男善女の縁結び、お写真を承っております。お気軽にご連絡ください。四十・五十代の出会いも応援しています。

お声掛け運動

平成三十（二〇一八）年十月より、事務局から七十五歳以上の会員（百名弱）の方にお電話による「お声かけ運動」を実施（不定期）し、今までに、おおよそ対象者に十巡ほどお電話をかけ、日常のお話、ご相談、県人会活動に対するご意見などをお伺いしています。

最近では、ほとんどの方がコロナ禍のせいで外出しづらく家にこもりがちで、健康維持に対する不安をかかえていらっしゃる方が多いように見受けられます。

関東ブロック滋賀県人会

意見交換会

関東ブロックの各県人会は、東京滋賀県人会長を代表世話人とし、東京、埼玉、千葉、神奈川などを中心に、会長会議や副会長・理事レベルの実務者会合を開き、ブロックとして結束した取組みを強化し、会員相互の交流拡大を目指します。

今回は、令和四年八月二十七日（土）に「ここ滋賀」二階「近江牛毛利志満」にて開催し、近江ゆかりの会開催への協力、首都圏県人会合同イベント開催の提案、会員増対策などを話し合いました。

物故者法要

令和四年八月二十三日（火）十時三十分

東京滋賀県人会ホールにて
毎年八月に、東京滋賀県

人会の関係者で亡くなられた方々の霊を慰めるため、物故者法要を開催しています。昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症流行を避けるため、事務局を中心とした少数のみの参加で執り行いました。



AKINDO塾

塚本東京滋賀県人会副会長を塾頭に、滋賀県に所縁のある人々や会員同士の人脉形成、ネットワークの構築、知識の向上を支援する目的で、二〇一六年秋以降「AKINDO塾」を定期的に開催しています。

第十四回は、七月二十五日（月）「ここ滋賀」二階「近江牛毛利志満」にて、講師に北修爾氏【元阪和興業（株）社長、会長】をお迎えし開催いたしました。

演題を「私の歩んできた道」として、官僚から民間企業の立て直しを実現されたご経験などについて、お話しいただきました。講演要旨は県人会ホームページ「いま滋賀」に掲載されています。



北 修爾 氏



第三三回琵琶湖夢街道大近江展

令和四年三月二三日（水）～二八日（月） 高島屋日本橋店八階催会場場で開催されました。

昨年度に続き新型コロナウイルス感染症対策下での開催となりましたが、多くの皆様にお越しいただき、昨年より多くの売り上げとなったとのことです。
足をお運びいただいた会員の皆様に、厚く御礼申し上げます。

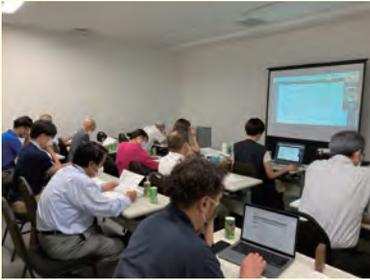


令和四年度定期総会のご報告

令和四年九月三日（土）十四時三十分～十六時三十分
アットビジネスセンター東京駅八重洲通りにて総会を開催。総会員の三分の二以上（委任状提出者を含む）が出席。約十名の役員や会員がリモートで参加されました。

令和三年度の決算及び事業報告の審議、役員人事の他、定款の変更について特別決議を行い、総会員の三分の二以上の賛同を得て、可決されました。

総会終了後直ちに同所で理事会を開催し、役付き役員を選任を行いました。



東京滋賀県人会 法人会員の皆様のご紹介 (令和4年8月末現在)

| | | | |
|-------------------------------|-------|-------------------|--------|
| アインズ(株)東京支店 | 千代田区 | 清水惣(株) | 千代田区 |
| Ascent Business Consulting(株) | 港区 | 昭和西川(株) | 中央区 |
| (株)鮎家 | 野洲市 | (株)数寄和 | 杉並区 |
| 伊藤忠商事(株) | 港区 | ゼッターリンクス(株) | 荒川区 |
| (株)永昌堂印刷 | 中央区 | (株)大生産業 | 野洲市 |
| エステックサービス(株) | 大田区 | (株)高島屋日本橋店 | 中央区 |
| 笑四季酒造(株) | 甲賀市 | たねやグループ | 近江八幡市 |
| ENWA(株) | 大阪市西区 | チョーギン(株) | 墨田区 |
| 太田酒造(株)東京営業所 | 足立区 | (株)トランプ | 港区 |
| 大塚オーミ陶業(株) | 千代田区 | 中田商店 | 八王子市 |
| 大星岡村(株) | 中央区 | (株)ナカノアパレル | 中央区 |
| (株)叶匠寿庵 | 大津市 | 長浜浪漫ビール(株) | 長浜市 |
| (株)鹿深サービス | 甲賀市 | (株)西川 | 中央区 |
| 川島酒造(株) | 高島市 | 日本ロジテム(株) | 港区 |
| 木村水産(株) | 彦根市 | (株)布引焼窯元 | 東近江市 |
| 協同組合ビジネス21 | 彦根市 | 農事組合法人グリーンティ土山 | 甲賀市 |
| 久禮経営労務管理事務所 | 世田谷区 | (一財)東日本橋真宗会堂維持財団 | 中央区 |
| 元三フード(株) | 大津市 | (株)ひょうたんや | 近江八幡市 |
| (有)甲賀もち工房 | 甲賀市 | (公社)びわこビクターズビューロー | 大津市 |
| 江州技研(株) | 台東区 | (株)びわこフード | 近江八幡市 |
| (株)光洋社 | 新宿区 | (株)マルヨシ近江茶 | 甲賀市 |
| (公財)湖国協会 | 武蔵野市 | メルクロス(株) | 中央区 |
| (株)三和開発 | 米原市 | 森島商事(株) | 竜王町 |
| 滋賀近交運輸倉庫(株) | 長浜市 | 柳屋ビルディング(株) | 中央区 |
| (株)滋賀銀行東京支店 | 中央区 | ヤマ庄陶器(株) | 甲賀市 |
| 滋賀県青年団体連合会 | 大津市 | (株)large | 大阪市中央区 |
| 滋賀県東京本部 | 千代田区 | 楽入陶房 壺中庵 | 甲賀市 |
| (株)静永事務所 | 港区 | (株)RoseUniverse | 守山市 |

(五十音順敬称略)

「ここ滋賀」新体制で

2期目スタート

「ここ滋賀」 所長

青田 朋恵

東京滋賀県人会 副会長

内田真由子



撮影・編集
岩見紀美子

東京滋賀県人会 事務局

琵琶湖版SDGsである「マザーレイクゴールズ (MLGs)」。13のゴールカラーは、日本の伝統色で表現されており、MLGsが生活に溶け込んでいる象徴でも有ると感じています。そんな親しみのあるMLGsカラーでこのページを彩っていますので、色でお二人のお人柄や雰囲気も感じながら対談記事をお楽しみください。

法被姿で店頭に立つのが

好きなんです！

内田 びわ湖パールのネックレス、びわ湖を形取ったマスクチャーム、とても素敵ですね (笑)
青田 びわ湖パールのブレスレット、MLGsのピンバッジ、着用されていますね (笑)

内田 さて、青田所長は今年4月から滋賀県情報発信拠点「ここ滋賀」の4代目の所長に就任されました。4月29日にリニューアルオープンイベントが開催され2期目がスタート、運営事業者も滋賀地元の会社アインズ (株) が受託され新体制となりました。青田所長は以前からSNSで情報発信力があり現場を大切にされる方だなどと思って拝見していました。「ここ滋賀」の店頭でも自ら法被姿でお客様と直接会話をされているお姿が印象的ですが、リスタートした「ここ滋賀」に対する思いなどお聞かせいただけますか。

青田 近江商人ゆかりの地である日本橋に、2017年10月に開館して以来、東京滋賀県人会の皆さまにも積極的なご協力をいただきながら、4年半で約170万人を超える皆さんに御来館いただき、首都圏の皆さんに滋賀の魅力を発信してきました。第2期運営より、新たな事業者として、県内企業であるアインズ (株)



ここから、ひろがる、滋賀のストーリー。「ここ滋賀」を通じた人との出会い、つながりを大事にしていきたいと思います！



撮影・編集
岩見紀美子

東京滋賀県人会 事務局

琵琶湖版SDGsである「マザーレイクゴールズ (MLGs)」。13のゴールカラーは、日本の伝統色で表現されており、MLGsが生活に溶け込んでいる象徴でも有ると感じています。そんな親しみのあるMLGsカラーでこのページを彩っていますので、色でお二人のお人柄や雰囲気も感じながら対談記事をお楽しみください。

を迎え、同社のネットワークを活かして、県内事業者との連携を強化。1階マーケットは、(株)淡味が、これまでの他県のアンテナショップ運営の経験を活かし、湖魚や近江のお茶、近江の地酒、伝統商品の拡充や、新たに精肉販売も開始するとともに、首都圏での販路開拓を実施。2階レストランには、滋賀の老舗「近江牛毛利志満」が都内初出店。首都圏の皆さんにも、ぜひ、近江牛をはじめとする滋賀の味を堪能していただきたいと思えます。また、第2期では、滋賀の観光誘客についても力を入れており、観光コンシェルジュによる観光案内に加え、(株)日本旅行との連携により、館内で旅行商品を販売し、オリジナルクーポンを造成するなど、「ここ滋賀」から現地滋賀への観光誘客機能をアップし、まさに「ここからひろがる 滋賀のストーリー」を目指した運営を行ってまいりたいと考えています。

滋賀の魅力満載

世界農業遺産・シガリズム・MLGs

内田 多彩な滋賀の魅力発信に益々期待が高まっています。ところで、青田所長は「世界農業遺産」認定に向けて長きに渡り尽力されたと伺いました。

青田 はい、去る7月18日、FAO (国連食糧農業機関) において、私たちが先人から脈々と引き継いできた「森・里・湖に育まれる漁業と農業が織りなす琵琶湖システム」が、持続的か

青田 朋恵 「ここ滋賀」所長 (商工観光労働部管理監)

◇経歴：農業土木職として滋賀県庁に入庁。農業農村整備事業に関する企画・調査等の業務に従事。広報課 (県広報誌や県TV番組の企画編集等) に従事。農政水産部農村振興課にて「農山村地域での空き家対策」、「都市農村交流」、「魚のゆりかご水田」など農山村地域の活性化対策に従事。農政水産部農政課で「世界農業遺産」認定に向けて従事。◇主な仕事：滋賀の首都圏発信拠点「ここ滋賀」の運営に関する総括。滋賀の魅力や情報を発信。◇モットー：食べることで琵琶湖を守る



つ世界的に重要で特徴的な農
林水産業のシステムとして、
「世界農業遺産」に認定され
ました。

この「琵琶湖システム」は、
エリ漁等の伝統的な「琵琶湖
漁業」、水田に遡上する湖魚
を育む「魚のゆりかご水田」、
ニゴロブナと近江米から生ま
れた「フナズシ」などの食文
化、また、琵琶湖の環境に配
慮した「環境こだわり農業」

や、水源となる森林の保全活動などによって形
づくられる農林水産業のシステムです。こうし
た「琵琶湖システム」は、国連の定める持続可
能な開発目標（SDGs）、そしてMLGs（マ
ザーレイクゴールズ）の達成に寄与するもので
す。世界農業遺産として、世界にその価値が認
められた「琵琶湖システム」を「ここ滋賀」に
おいて、首都圏の皆さんにも、しっかりとその
魅力をお伝えしていきたい。コロナ禍の中で、
自然志向・健康志向が高まり、人々の価値観が
変化してきている。これらを受け、滋賀の時間
や流れや暮らしをより深く体感していただき、
心のリズムを整えていただく、そんな新たな
ツリーズを「シガリズム」として「ここ滋賀」
から発信し、滋賀への誘客につなげていきたい
と考えています。

内田 なるほど。世界農業遺産認定は地域の
方々の自信や誇り、SDGs、MLGsの達成、
観光資源にも繋がるのですね。行政はよく縦割
りと言われますが、イベントの企画や開催をさ
せていただく中で感じるのは、滋賀県はSDG
s理念のもと横断的な連携がとれていて素晴ら
しいなど。県の幹部にも女性の方が増え多様性
を尊重する理念が反映されているのも嬉しいで
すし、いち早くSDGsを県政に取り入れれご当
地バージョン「MLGs」を推進されています
よね。東京滋賀県人会の小林洋一会長が副会長



として在籍されていた伊藤忠商事（株）もSD
Gsのリーディングカンパニーです。この共通
項は滋賀出身者として誇りに感じます。そもそ
も三方よしの精神はSDGsに通じるので、滋
賀県民には素地があるのかもしれない。今後
は滋賀の新たな魅力「MLGs」も含め、継承
者問題で持続可能が難しい大津絵や膳所焼など
「滋賀ならではの芸術・文化」の分野にももっ
と光を当てていきたいです。

今後の抱負と連携に向けて

青田 情報発信拠点「ここ滋賀」を中心に、滋
賀の豊かな自然や歴史文化、「琵琶湖システム」
として豊かで恵まれた環境のもとで育まれた食
やモノなど、滋賀の魅力を発信し、県内外の



方々が、その魅力に触れ、
体感できる機会を更に増
やしていくことができる
よう、そして「シガリス
ム」の発信拠点として、
滋賀のストーリーをしつ
かりと伝えることができ
るよう努めて参りたい。
また、そのためには、長
年にわたり、都内から現
地滋賀を応援していただ

令和4年4月29日にリニューアルオープンした「近江牛毛利志満 日本橋ここ滋賀」にて。リラックスした雰囲気でお話を行うことができました。スタッフの皆様ありがとうございました。

近江牛毛利志満 日本橋ここ滋賀
ランチ 11:30 ~ 14:30 (L.O 14:00)
ディナー 17:00 ~ 22:00 (L.O 21:00)
TEL03-6281-9872

東京滋賀県人会も
琵琶湖版SDGs「MLGs」
に賛同し「ここ滋賀」を
拠点に滋賀の様々な
魅力を再発見
していきたいです。



内田 ありがとうございます。
これまでの県人
会は「同郷の会」
でしたが、今で
は東京進出を目指す県内事業者、滋賀との関わりを希望される首都圏の事業者、滋賀に興味をお持ちの方など関係人口が増え「滋賀好き」な人が集まる会へと様変わりしてきています。日本経済の中核でご活躍された小林洋一会長を筆頭に信用ある団体として、「滋賀がおもしろい！」と感じていただける仲間を増やす活動をリアルとデジタルの両輪で展開していきたいです。「ここ滋賀」を拠点に、近江牛岡喜日本橋店・つゆしゃぶちりり京橋店・歌舞伎座などの滋賀ゆかりの企業とコラボイベントを開催するなど、更なる相乗効果や共感を得つつ絆を深めていきたいと考えています。滋賀愛溢れる「人の宝庫」県人会を今後とも宜しく願います。

内田 真由子 (一社) 東京滋賀県人会 副会長

◇経歴：大阪ヒルトンホテル営業部に7年勤務し、結婚を機に銀座「あかね画廊」に転職。滋賀県瀬田の唐橋中洲で「ギャラリー唐橋」を開業しアート業界で草の根メセナ活動を行う。◇主な活動：地方創生にも関心を持ち、東京滋賀県人会の活動をはじめ (一社) 滋賀県茶業会議所アンバサダー兼SDGs部会長、(一社) 滋賀県青年会館評議員、(一社) 地域振興支援ふるさとのチカラ理事など、支援活動をライフワークとする自由人。◇趣味：歴史探訪、音楽・芸術鑑賞、料理すること食べること、お茶活。





ここ滋賀

新しく生まれ変わりました！

2F

近江牛 毛利志満 日本橋ここ滋賀

近江八幡市の近江牛の名店、「毛利志満」がプロデュースするレストラン。湖東地域にある自社牧場で育て上げた黒毛和牛と滋賀のゆたかな自然の中で育つさまざまな食材が、フレンチシェフの手によって生まれ変わります。ランチタイムの人気の秘密は、近江牛を中心に、滋賀の四地域（湖東、湖南、湖北）の食材をスイッチして取り入れているところでしょう。オーストリアと琵琶湖の形が似ているというご縁で、特別メニューのシュニッツェルが登場した事も！ピワマスを使った料理は美肌メニューとして女性ファンが多い一品です。

近江牛×フレンチシェフ



近江牛毛利志満ステーキとピワマスのミキユイ。



近江商人ゆかりの地・日本橋にある滋賀県情報発信拠点「ここ滋賀」は2022年4月29日にリニューアルしました。2期目の運営事業者は滋賀県竜王町に本社、千代田区神田に東京支社を構える「アインズ（株）」が担い、1階マーケット・SHIGA's BARは兵庫県淡路島に本社があり福井県や兵庫、京都、滋賀、三重、奈良、和歌山、徳島、香川、岡山、広島、山口、福岡、熊本、鹿児島、沖縄の各都府県に支店を持つ「（株）淡味」、2階レストランは近江八幡に本店がある近江牛の老舗「毛利志満」が近江牛と滋賀食材をプロデュース。3者が連携した体制で、シガリズム、ピワイチなどの観光や滋賀への誘客の強化を図り、またネットショップピンゲを立ち上げたりと多彩な発信に取り組んでいます。



近江牛をはじめ滋賀の食材を使って滋賀の食文化の魅力を紹介します！

料理長 阿部 彰さん
フランス料理店「シェ・イノ」井上 旭氏に師事。青山「マンワール・ディノ」料理長を経験したフレンチの巨匠。

代表取締役社長 森嶋政文さん
森嶋明奈さん

1F

マーケット・SHIGA's BAR

総合案内 — 観光・案内 —



観光コンシェルジュが観光のご相談にお答えします。

日本旅行のプランナーがご相談やツアー申し込みを受け付けます。(月4回程度・限定日のみ)



滋賀県ならではの商品を取り揃えてお待ちしております！

「ここ滋賀」の魅力的な商品やイベントを発信中！フォローお願いします！

商品担当 田上絵梨花さん

SNS担当 海野飛美さん



新しい「ここ滋賀」へお出掛けになりましたか？
クロスバイクをディスプレイに入れろなど、大胆な内装も話題のNEW「ここ滋賀」。更に、首都圏の百貨店やイベントにも出店を重ね、より「ここ滋賀」が身近な存在になりつつあります。精肉販売コーナーがオープンし、いつでも高品質な近江牛をお買い求めいただけます。「こま切れ」焼き肉用肉が週末の目玉商品となっています。SHIGA's BARではガチャガチャ

を回してランダムに地酒に出会う「推し蔵ガチャ」が登場！（期間限定）どの日本酒を選べばいいか迷っている方にお勧めの企画です。テイクアウトをするなら古株牧場（竜王町）のミルクジェラート、米安珈琲焙煎所（守山市）のコーヒーはいかがでしょう？ 啤酒師でもある古市支配人に出会えたら、日本酒について語り合ってみてくださいね。



滋賀自慢の地酒を飲みSHIGA's BARへどうぞお越しください！

マーケット・SHIGA's BAR 店長 古市宏樹さん
啤酒師 他県アンテナショップ店長の過去の経験を生かし滋賀の魅力を発信。



QRコードをかざすと
オンラインでも
お買い物ができます！

<https://cocoshigashop.jp>

マーケットスタッフからの おすすめ商品特集

手土産におすすめ！

果実彩菓 きんかん大福 しろ平老舗
920円(税込)

WABARA ROSE TEA
+Si(OH)4 300ml
株Rose Universe
486円(税込)

しほ mifukuスパークリング
350ml 美富久酒造株 693円(税込)

クラフトビールも人気です！

長浜浪漫ビール株
各種540円(税込)

猫好きにはたまらない

猫のぐい呑み 布引焼
2,200円(税込)

GI認定の地酒も含め
滋賀県内各地の
地酒が揃います！

上：清酒 特純山廃 道灌 カップ
180ml 太田酒造株 352円(税込)

左：笑四季 レトロラベル純米
720ml 笑四季酒造株 1,595円(税込)

アマハガン ワールドモルト
エディションNo.3
ミズナラウッドフィニッシュ 47°
長浜浪漫ビール株 8,250円(税込)

簡単！油で揚げるだけで
レストランの味。

【冷凍】岡喜ビーフロッケ 5個入 株岡喜商店 1,300円(税込)
／近江牛生ハム 元三フード株 1,296円(税込)

伝統的美しさと令和が
融合したデザイン

一輪挿し「Chabana」シリーズ
雫 ヤマ庄陶器株 2,970円(税込)

ここから、ひろがる滋賀のストーリー



〒103-0027 東京都中央区日本橋2-7-1
 営業時間：1F マーケット・バー・総合案内 10:00～20:00 TEL03-6281-9871
 2F レストラン 11:30～14:30 / 17:00～22:00 TEL03-6281-9872
 ※営業時間に変更となる場合がございます。
 定休日：年末年始
<https://cocoshiga.jp/>



東京メトロ、都営地下鉄日本橋駅 B6・B8 出口からすぐ
 JR東京駅八重洲北口から徒歩6分
 無料巡回バス／メトロリンク日本橋駅「地下鉄日本橋」停留所最寄り（東京駅八重洲口より約10分間隔で運行）

井伊直弼公の「優しい心」

一人々に寄り添う―(前編)

埋木舎当主・駒澤大学名誉教授 大久保 治男



大久保 治男氏

(一)

井伊直弼は文化十二年(二八一五)十一代彦根藩主(譜代筆頭・三十五万石)井伊直中の十四男として誕生。三百俵の捨扶持で彦根城佐和口御門前の「埋木舎」と号する公館で三十二歳までの十五年間を暮らすこととなる。茶道・和歌・ボン(鼓・能・謡曲)の修行に集中し、その基盤には「禅」の修行も行っていった。

直弼は両親の御恩に対しては常に敬意を表し慕っていた慈愛の心が厚い。龍潭寺の母の墓前に参詣した折は、

○そのかみの煙と共に消えもせて

つれなく立てる松ぞわびしき

と詠じ、母上は亡くなられたのに墓近くの松の木はまだ立っている。悲しいことだ、と心痛の極みを詠い、父君の十三回忌に当たっては、「夢のごとあまり三つのとしを経てかへるうつつはなみだばかりぞ」と詠じ何年経っても父君の逝去を涙して悲しんでおられる。

この「やさしい心」は露の間の螢のはかない生命にまで向けられていた。

○影見せて過ぎし螢の名残りかも 蓬が窓の露の白玉
さらに、風景にまでも

○かなしさは何のなごりもあらなくに
袖につゆせし秋の夕ぐれ

(二)

「やさしさ」は人と争わず、怒らず、対抗せず、心広く、抱擁、奉仕の心にも通ずる。

直弼は「柳の木」をこよなく愛した。埋木舎は別名で「柳王舎」「柳和舎」(共にやぎわのやと読む)と呼び、「柳」にまつわる和歌を数多く残している。俳句集としては、「柳洒落葉」、和歌集としては、「柳廻四附」がある。

○のどかなる道の柳のいとほしく

しづこちして風の吹く見ゆ

○霞より花より春の色を待つ

岸にみせたる青柳の糸

○そよと吹く風になびきて

すなほなる姿をうつす岸の青柳

また、直弼は江戸時代後期の俳諧師大島蓼太の俳句「むつとしてもどれば庭に 柳かな」を座右の銘にしていた。何か腹立たしいことがあって、むつと怒りながら帰宅しても柳を見て柳の枝のようにやさしく垂れて逆らわず怒らずやさしく包み込む心がまんしよう。しかし、心はしっかりとしつ……。正に昇華された「やさしさ」であろう。

(三)

「直弼の茶の湯」については「滋賀縣人」百九十八号に書かせていただいているが、直弼の茶の湯に対する精神は、大名の子としては当時では考えられないような平等思想であり、身分や格式や財力等貴賤貧富の差には全く関係しない「茶は茶」「茶は心」「茶人は平等」のスピリットを強く持っておられた茶の湯であった。茶道の真髄、茶人は茶人として平等・対等であるという「やさしさ」の極致の様な

直弼茶道が埋木舎時代の貧乏な生活の中からの思想として昇華したのである。

庭を剪定していた植木屋さんや台所に働いていた女中さんも茶室に招き、茶席を楽しんでおられた直弼であった。

今回は直弼の「茶の心」についての和歌を数首掲げて直弼のやさしさを探ることとした。

「佗数寄」の四要素として、①生涯を茶の湯に懸ける「執心」②人としての修行「禅」③風躰確立としての「和歌」④茶道具選択の「目聞」があるともいわれている。和歌こそ茶の湯の心でもあろう。

○とも角に心の塵をまづ掃きて

のむべかりけり宇治のつみ草

○散りかかる池の木の葉をすくひ捨て

底のこころもいさきよきかな

〈後編は二百一号に掲載予定〉

当「投稿コーナー」で井伊直弼公についてのお話を連載いただいている、埋木舎当主・駒澤大学名誉教授大久保 治男氏(当会会員)が、書籍『埋木舎で培われた井伊直弼の茶の湯』(サンライズ出版)を出版されました。



お求め、お問い合わせは以下の紹介ページまで。
<https://sunrise-pub.co.jp/isbn978-4-88325-764-5/>

マザーレイクゴールズ

「豊かなびわ湖を次世代に引き継ぐために」

滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖保全再生課 副主幹

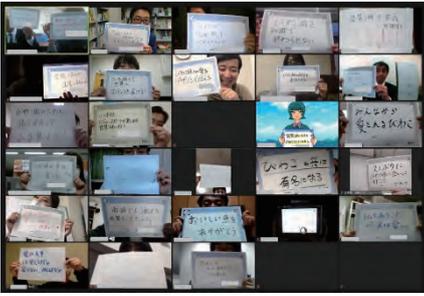
小林 匡哉

マザーレイクゴールズの基になった「びわ湖との約束」

マザーレイクゴールズ（MLGs）は、「琵琶湖」を切り口とした二〇三〇年の持続可能社会へ向けた目標（ゴール）です。見た目はSDGsと似ていますが、その成り立ちはSDGsが制定された二〇二五年の四年前の、二〇二一年にさかのぼります。

当時、策定された「マザーレイク21計画 第二期改定版」において、「マザーレイクフォーラム・びわコミ会議（以下、びわコミ会議）」が設置されました。

びわコミ会議では、年代や性別、所属、経験、価値観などが異なる人同士、また異なる地域に住まう人同士が琵琶湖の現状やこれからの対話を重ねるとともに、琵琶湖のために出来ることを「びわ湖との約束」として、参加者全員が表明してきました。びわコミ会議は十年にわたり



びわコミ会議 びわ湖との約束

開催され、十年分蓄積された「びわ湖との約束」がMLGsの基になっています。

マザーレイクゴールズが発案されるまで

マザーレイク21計画の終期（二〇二〇年）が迫るに従い、後継の仕組みが検討され始めました。行政の施策は新たに策定された琵琶湖保全再生計画に引き継ぐ一方で、マザーレイク21計画で担ってきた県民協働を引き継ぐにはどのような仕組みが良いか、「条約」や「協定」、「憲章」など色々なコンセプトがある中、二〇一五年に気候変動枠組条約締結国会議（通称COP21）で合意されたパリ協定を参考にしてはどうかとの意見が出ました。琵琶湖で清掃活動をする人も、カヌーを楽しむ人も、鮎寿司を愛する人も、水防団として水害に備える人も、それぞれの思いにもついで活動しており、パリ協定の「共通だが差異のある責任（先進国と途上国のそれぞれの国の事情の違いを認めつつ共通の枠組みの下で気候変動対策に取り組んでいく）」という概念であれば、これらの「それぞれの思い」を歪めることなくそのままの形で、豊かで美しい琵琶湖を次世代に引き継ぐための推進力にしていけると考えました。また、世論においてはSDGsが盛り上がりを見せており、県民協働の目標を琵琶湖版のSDGs、すなわちMLGsとして、まとめていく案が生まれました。

MLGsの発信の経緯

MLGs策定に至る議論は、私たち一人一人の行動の変化が持続可能な社会にどのようにつながっているのかを出発点にしています。十年分の「びわ湖との約束」をベースに、パリ協定やSDGsも参考にしながら、何度もワークショップや話し合いを重ねて、ボトムアップで作上げたものがMLGsです。

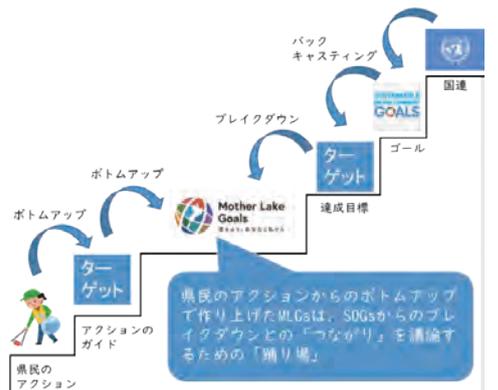
MLGsには十三のゴールがあります。ゴール1からゴール6までが「琵琶湖流域の自然環境に関するゴール」、ゴール7からゴール12までが「琵琶湖をとりまく暮らしに関するゴール」、ゴール13が「全体を貫くゴール」で

す。より詳しくはニュースサイト「MLGs WEB」<https://e.lgs.shiga.>「ぞ」をご覧ください。MLGs WEBでは、MLGsの説明のほか、MLGsにご賛同いただいた企業の取組みや、MLGsに関する様々なニュース等を掲載しています。

MLGsの今後の展開

様々な主体で取り組んでいただいているMLGsですが、県民の認知度はまだ高いとは言えません。多くの方に知っていただくために、今、力を入れているのがMLGs体操です。MLGs広報大使の伊藤みきさん（日野町出身元フリースタイルスキー・モーグル日本代表）が発案されたもので、MLGsの学習は、ともすれば理念先行で頭でっかちになってしまいがちですが、MLGs体操は身体を動かして学ぶことが出来ます。

このMLGs体操を県民に広く普及すべく、関係する皆さんと鋭意、調整を進めているところです。MLGs体操をはじめ、MLGsの活用についてご興味がありましたら、お気軽に当課までご連絡ください。どうぞよろしくお願いいたします。



MLGs体操（ランチ大津京でのびわ湖の日イベントにて）

MLGs WEB

MLGsとSDGsの関係

「シガリズム」でつなぐ、滋賀らしい観光の創出をめざして

滋賀県商工観光労働部観光振興局シガリズム推進室長 辻 良介

滋賀県観光振興局では、コロナ禍における滋賀への宿泊旅行・団体旅行に対する支援事業をはじめ、以前から、各種観光振興策の実施（日本遺産、近江の地酒、各種花火大会、インバウンド、ビワイチ、物産振興、映像作品支援を通じて魅力発信など）に取り組んでいるところです。

本県の観光を取り巻く状況としては、令和元年（二〇一九年）に年間の入込客数五千四百万人、宿泊客数四百八万人と過去最大の人数となっていたものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和二年の観光入込客数では三千六百四十一万人、宿泊客数は二百四十二万人（うち、外国人宿泊客数は四万人）となりました。

令和三年も観光入込客数三千六百九十二万人、宿泊客数二百五十六万人（うち、外国人宿泊客数五千八百四十人）と、コロナ前と比較するとまだまだ道半ばという状況です。

コロナ禍を経て、健康志向や自然志向の高まり、旅行の少人数化、アウトドアでのアクティビティ、人とのつながり等がより一層大切に考えられるようになり、本県の琵琶湖をはじめとする豊かな自然環境や、ビワイチや湖上での各種体験メニューなど、本県観光の有する強み・良さが改めて注目されていることから、単に観光地を巡るだけでなく、滋賀に暮らす人々と出会い、交流する中で、ゆっくり、ていねいに暮らしてきた滋賀の時間の流れ、暮らしに息づく生活文化、営み、歴史、伝統などを深く体験、体感いただき、「また訪れたくなる旅」「誰かを連れてきたくなる旅」「誰かにおススメしたくなる旅」を作っていきます。

ちなみに「シガリズム」とは、「琵琶湖をはじめとした自然と歩みをそるえ、ゆっくり、ていねいに暮らしてきた、滋賀の時間の流れや暮らしを体感できる、心のリズムを整える新たなツアーリズム」の総称として定義しています。

例えば、大津市逢坂の関近くにある「有限会社藤三郎紐」さん。こちらは慶応三年（一八六七年）創業の、滋賀県内で唯一の組紐事業者さんです。現在は四代目のお父様と五代目の太田浩一さんの二人で生産作業を行い、主に京都の呉服商店等へ出荷されています。

「大津の組紐」は、江戸時代中期に京都へ入る武士、町人の刀の下げ緒や印籠の紐を修理したことに始まるといわれており、本県の伝統的工芸品の一つです。

そんな藤三郎紐さんでは、毎週土曜日に限り、体験・見学を受け入れておられます。

まずはたくさんある糸の中から四本を選んで角台へセットし、太田さんの指導のもと組み上げていきます。同じ方で、左右に組み上げていかないと出来上がった紐の目が通らなくなります。心を整え、集中しながら作業するのがポイントです。最後は、願いが叶うという「叶結び」で結わえて完成です。

体験は事前申込制で一回四名までで、体験料、材料費込みで二千五百円（税込）です。

江戸時代に考案され、一度に十数本の紐を手動で組み上げていく木製の組紐機械（内記台）が現役で動くところを見ていただけるのも、日本国内ではここだけです。ぜひ、滋賀へお立ち寄りの際には、体験・見学いただければと思います。

このほかにも、シガリズム体験コンテンツを、九月からびわこビクターズビューローの「シガリズム」のHP上で紹介していきますので、ぜひそちらもチェックしてください。



色とりどりの紐を組んでいるところ



組台（角台）を使った組紐体験

●甲賀市だより

「忍者に関する幻の資料発見!!」

まぼろし

観光インフォメーションセンター「甲賀流リアル忍者館」について

日本遺産「忍びの里」の歴史文化や、甲賀流忍者の足跡を感じられる施設・史跡をご紹介するとともに、映像や忍者の体験型展示で甲賀流忍者を体感できる施設として令和二年秋にオープンしました。

なお、観光インフォメーションセンターとして、「甲賀流忍者」だけでなく、市内の観光資源となる「信楽焼」や「東海道」など、様々な観光情報を発信していきますので、是非、お立ち寄りください。

また、新たな魅力として人気テレビアニメ「ポケットモンスター」の人気キャラクター「ゲッコウガ」のポケふたも設置されておりますので、ご来館ください。

開館時間 十時～十六時
場所 忍の里プラザ内（甲南町竜法師六〇〇）
休館日 月曜日、年末年始
入館料 無料
問合せ 〇七四八―七〇―二七九〇



忍術書『間林清陽』の発見について

【発見の経緯】

発見者となる福島嵩仁氏は、三重大学大学院に在学中、忍術書『万川集海』の調査研究を行う中で、そのルーツとされる『間林清陽』の存在を探索されており、令和三年四月から甲賀市の地域おこし協力隊として就任された以降も、調査活動を継続されてきました。

そこへ、地元での聞き込みを進める中で、甲賀市甲南町葛木区所蔵の歴史資料に『間林清陽』とみられる古文書があるとの情報があり、調査をおこなったところ、区の蔵の中から発見されました。

【間林清陽の概要】

市指定文化財『万川集海』の冒頭「凡例」に次のとおり記載があります。

「この万川集海は、始めから終わりまで『間林精要（清陽）』の要点をまとめて用いて、伊賀・甲賀十一人の忍者が秘匿していた忍術や忍具のうち、時代に合わないものを捨て、合うものを選んでまとめたもの」（意訳）

このことから、『間林清陽』は、『万川集海』の元になった忍術書であると考えられ、これまで個人所蔵のものがあるという話はありませんでしたが、公的に存在及び内容が明らかとなったのは初めてのこととなります。

【現地調査及び調査結果】

新型コロナウイルス感染症の影響により現地及び現物調査を延期していましたが、令和四年六月十九日、甲賀流忍者調査団団長であり国際日本文化研究センター教授の磯田道史氏、三重大学国際忍者研究センター副センター長の山田雄司氏、甲賀市地域おこし協

力隊の福島嵩仁氏と市歴史文化財課職員にて、葛木区の協力を得ながら現地にて調査を実施しました。調査結果の概要は次のとおり。

▼この『間林清陽』は、写本記載の内容および筆跡等から江戸中期の延享五年（一七四八年）に作成されたと考えられる。

▼『万川集海』の成立は延宝四年（一六七六年）であることから、今回見つかった『間林清陽』は約七十年後に書かれた写本であると考えられる。

▼題目には「軍法間林清陽巻中」とあり、これ以外にも上下巻が存在すると推定される。

▼『間林清陽』には約五十条にわたる「忍術」が記載されており、その中身については極めて実戦的な忍術もいくつかみられる。

▼『間林清陽』は個人所蔵で写本が存在するといわれてきたが、実物や内容が確認されたことはなく、公開もされていなかった。これが甲賀の地から発見され、かつ内容がわかったことは貴重な発見である。

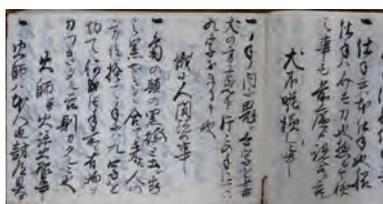
【今後の活用について】

『間林清陽』については葛木区に協力を依頼し、複製を作成し、九月から甲賀流リアル忍者館に展示を行う予定です。

今後、市において『間林清陽』に記載されている「忍具」や「忍具」の再現を実施し、甲賀流リアル忍者館での展示など、様々な活用やPRをしていきたいと考えています。



見つかった『間林清陽』の表紙



内容には、「犬に吠えさせないようにする術」など約50箇条書かれています。

東京滋賀県人会と私

東京滋賀県人会 理事 廣岡 健司



私は、滋賀県の南に位置します甲賀郡甲賀町（現在の甲賀市甲賀町）で生まれ育ちました。甲賀町は、鈴鹿山脈を背にした自然豊かなところです。この地域は、甲賀忍者

に代表されるように、歴史の舞台にも度々登場し、その中で築かれた文化遺産等も数多くあります。そのような風土豊かな地域で育った私が、海外に憧れを持つようになりしたのは、滋賀県と姉妹提携している米国ミシガン州との友好関係がきっかけでした。中学生の時に、ミシガン州から使節団の訪問があり、私の家にも使節団の方がホームステイに来られたのです。その交流を通じて、いつか自分も海外に行ってみたく、将来は海外と関わりのある仕事についてみたいと、強く憧れました。

その思いに導かれるように、国際弁護士を目指し、猛勉強の末、司法試験にも合格し、東京の法律事務所 で弁護士としての第一歩をスタートしました。その後、米国でも弁護士資格を取得し、英国への留学を含め、国際弁護士として、気づけば二十年以上、日本とその国際関係の発展のために活動しています。

弁護士になってからは、滋賀との出会いもないままあつという間に日常が過ぎて行きました。そのような自分に、再び滋賀と向き合う機会が訪れたのは、二〇〇四年のことでした。当時、海外研修のため、米

国の法律事務所 で仕事をしていた際に、偶然、シアトル近江クラブのポスターを見かけ、集まりに参加したのです。その集まりでは、現地で生活をしておられる滋賀県ゆかりの方々がお互いを気遣いあう温かい交流があり、その参加の経験は素晴らしいものでした。異国の地で、突然出合った滋賀とのつながりに、勇気づけられました。私はその時のことが忘れられず、このようにながりを大事にしたい、このようにながりを発展させ、海外でチャレンジしようとする次の世代の方々の頼りにもなるようにならねばと思えました。その思いから、日本に帰国した際に、東京滋賀県人会の事務局にご連絡を取り、参加させていたという経緯です。

東京滋賀県人会は、諸先輩方や、会長はじめ役員、関係者の方々のご尽力により、近年、大きく発展していると思います。活動に参加させていただいて、私が東京滋賀県人会を特に魅力的と思うのは、以下のような点です。

まず、参加されている方々のバックグラウンドが多様で、世代も多様です。出身地をとってみても、様々な地域の方がいらつしやいます。私にとりこれまであまり馴染みのなかった湖東、湖北や湖西のご出身の方もいらつしや、それらの地域のことをとても身近に感じ、滋賀の新しい魅力を発見することができました。また、東京滋賀県人会では、様々なイベントを企画

したり、情報発信をしたりしています。活動に参加することで、日常の中で、滋賀の情報への感度が高くなり、滋賀を身近に感じることが出来ます。私の出身地である甲賀忍者のイベントが東京で開かれた際に、東京滋賀県人会の方々と一緒に参加させていただいたのも忘れがたい経験です。

さらに、滋賀というつながりの中で、友人の輪が広がることも人生の財産だと思います。東京滋賀県人会では、気軽に参加できる楽しい企画も多くあり、AKINDO塾のような滋賀出身の各界で活躍されている方のお話を聞く企画もあります。誰でも自分の関心のある接点から、興味の向く活動に気軽に参加し、有意義な時間を過ごすことができると思います。

以上のような東京滋賀県人会ですが、今後とも発展し、次の世代にバトンタッチしていければ素晴らしいと思います。滋賀県にゆかりのある方が、世界のどこにいても、滋賀のつながりを感じることができ、それを基盤に、いろんなことにチャレンジできるようになればと思います。その実現のためにも、私も楽しみながら、今後、東京滋賀県人会の活動に参加したいと思っています。



「甲賀通り」現在の御茶ノ水駅近くにある通りであるが、江戸時代には、この地域に甲賀出身者が多く住んでいたといわれている。

森と湖、人の繋がりを守るために

～第七十二回全国植樹祭参加報告～

東京滋賀県人会 理事 藤田 進



二〇二二年六月五日、滋賀県にて第七十二回全国植樹祭が開催されました。

滋賀県での開催は四十七年ぶりで、前回は一九七五年（昭和五〇）年に現在の栗東市金勝山県民の森で行われた第二十六回植樹祭でした。当時小学生になったばかりの私は土山町の頓宮大茶園をご視察になった昭和天皇皇后両陛下に沿道で日の丸を振って歓迎したと記憶しております。

今回のメイン会場は甲賀市の「鹿深夢の森」。鹿深かふかという名称は甲賀の古い名称で、飛鳥時代に鹿深臣かふかのみという豪族がこの地の文化を開いたことに始まり、カフカがなまってコウカになったと言われています。奈良時代には甲賀まへ、甲賀山作所と呼ばれる林業集団が東大寺や石山寺の用材を伐りだした歴史的木材ルートのあるこの地で全国植樹祭が行われる事を、地元住民として誇りに思います。

私の自宅から見えるような地元で開催される全国植樹祭なんて一生に一度の事なので応募



鹿深夢の森メイン会場



天皇陛下によるオンラインでの記念植樹



鹿深夢の森にて記念植樹

し、一般招待者として参加できました。甲南町の集合場所で大規模観光バスに乗り、鹿深夢の森へ出発です。

到着後、記念植樹を行い、会場に入場。おもてなし広場では「忍者ショー」や「すいりょう節」、伝統芸能など様々なイベントが開催されています。地域の特産品などの販売もされ、滋賀のアピールが活発に行われていました。

昼食に滋賀の食材や名産品が使われた「近江の恵おもてなし弁当」が配布されました。お茶は環境に配慮された紙製容器の近江の茶カートカンです。とても美味しくいただきました。

式典は岩永市長の挨拶に始まりました。岩永市長は森林、びわ湖、人のハーモニーと題し、昔の森林やびわ湖、人の暮らしが便利になった事により環境が変わり赤潮が発生したり外来魚が繁殖したこと、そして保全活動を通じて蘇っていく森林とびわ湖などを紹介されました。

続いて天皇陛下のオンライン参加を参加者全員で日の丸を振ってお迎えし、記念植樹が始ま

ります。天皇陛下のお言葉をいただいたのちに天皇

皇后両陛下がスギ、ヒノキ、トチノキ、イロハモミジなどをお手植えされ、クロマツ、ホンシヤクナゲなどをお手播きされました。三日月滋賀県知事など代表者記念植樹も行われました。最後に西川貴教さん、安蘭けいさんの進行により、しずくから始まる、びわ湖水源の森林つくりへの誓いに続きリレーセレモニーが行われ、次回開催地の岩手県へと引き継がれ岩手県知事が挨拶されました。天皇陛下ご退席の後、地元の甲賀忍玉太鼓団、彩風舞人のパフォーマンスがあり、式典はフィナーレを迎えました。

「木を植えよう、琵琶湖も緑のしずくから」をテーマに開催された第七十二回全国植樹祭しが二〇二二。森、川、里、そして湖、当たり前にある私たちの周辺の環境も自然の光景も全ては人が関わるもの。山からの水がびわ湖の生態系にも大きく影響し、山から湖まで全てが繋がっている事も知りました。全てが緑で繋がっているのだと思います。

私が営む稲作には水が欠かせません。その水の源は森林の雫であり、山が保水してくれている事にあります。

森から溢れる雫が集まり山が保水して湧き出し、川となり田んぼに流れてきます。

生命に不可欠な水は森が原点であり、自然環境を守り保全していく事が農業に携わる私達の使命でもある事を再確認いたしました。

この植樹祭開催にあたりご尽力された関係者の皆様のおもてなしに心から感謝します。一生で一度の素晴らしい貴重な体験をさせていただきます、ありがとうございました。

「ガチャコン」に乗って 沿線の魅力に触れる旅

森岡 進一（近江八幡市出身）

近江鉄道

『お伊勢参らば お多賀へおいやれ お伊勢お多賀の子でござる』と謡われ、東海道土山宿から中山道愛知川宿に近い小幡を結ぶこの道は、江戸時代京都から伊勢へ参拝し、その後、多賀大社への参詣に利用されたことから御代参街道と呼ばれた脇街道の一つです。1640（寛永17）年、三代将軍徳川家光の乳母の春日局が伊勢神宮から多賀大社へ参拝する際に、整備されたと伝わります。朝廷も同様に二つの社を参拝する慣習が有り代参する人々がこの街道を往来したことから、いつしか御代参街道と呼ばれるようになりまし。江戸時代の伊勢参りブームの中で、北国と伊勢を結ぶ経路として多くの旅人に利用されたこの街道は、東海道と中山道を結ぶだけでなく、近江八幡から八日市を経由して八風峠を越えて三重県に至る八風街道とも交差しています。複数の街道が絡み合う絶好の環境こそが交易を発展させ、この地区に多数

滋賀県東部地域で3路線、営業距離59・5kmで、総駅数33駅（うち完全無人駅は19駅）のローカル鉄道です。2021年度の事業用車両数は19編成31両です。輸送人員は1967（昭和42）年度の1126万人をピークに減少に転じ、2020年度はコロナ禍の影響もあり約369万人に落ち込んだようです。通勤通学の利用者が全乗客数の3分の2を占め地域の生活を支える交通として定着していますが、営業損益は、1994（平成6）年に赤字に陥り、以降連続赤字です。滋賀県と沿線10市町自治体は、2020年3月に上下分離方式で近江鉄道全線の存続を決定。2024年から、地域の自治体が施設を保有し、近江鉄道は列車運行に専念する、公有民営方式による上下分離の経営体制に移行されます。この方式は三陸鉄道や若桜鉄道が採用しています。

近江鉄道沿線ガイド



彦根・多賀大社線

路線愛称区間…彦根～フジテック前～鳥居本～土山宿
彦根～ひこね～彦根口～高宮～スクリーン～多賀大社前

・米原駅…関西の私鉄としては珍しく新幹線に接続しています。駅東口側に北国街道米原宿がありました。10月上旬には湯谷神社の「米原曳山祭」が行われ、屋台で行われる「子ども狂言」は見ものです。米原駅名物駅弁・井筒屋「湖北のおはなし」「近江牛大入飯」等いかがですか。



の近江商人を輩出するきっかけとなったのでしよう。近江鉄道は、開設から126年になります。旧彦根藩士らの呼びかけで近江商人の資金を活用し1896（明治29）年開設されました。明治時代に設立して当時の社名のまま今日迄存続している私設鉄道は、近江鉄道と東武鉄道、島原鉄道だけです。1943（昭和18）年箱根土地（当時）に買収され、現在の西武グループとなります。翌年、近江八幡～御園（旧飛行場）間の路線を持つ八日市鉄道を合併します。（近江八幡～新八日市間は湖南鉄道から承継、新八日市～御園間は1964年廃止）翌々年、八日市～新八日市間を開業し現在に至ります。今年、新橋から蒸気機関車が走って150年でもあります。東海道・御代参街道・中山道・北国街道を繋ぐように走る近江鉄道に乗り、カメラと一緒に東近江を巡る旅に出かけました。

・**鳥居本駅**：駅舎は、近畿の駅百選に認定された登録有形文化財です。2007年には彦根城四百年祭のイベントで184時間にも及ぶコンサートが駅舎で行われ世界最長記録としてギネスブックに登録されました。国道8号線を越えた旧道に中山道鳥居本宿がありました。多賀大社の神の教えにより作られたと伝えられる「赤玉神教丸」の「有川家」は、築260年以上の老舗の建物で国の重要文化財です。

・**彦根駅**：東口の近江鉄道ビルには本社が、構内には車庫があり、地方私鉄としては珍しく車両の大規模な改造も手がけます。JR東海道線とも線路は繋がります。2019年観光入込客数（以下、年間入込客数）約77万人を迎える「彦根城」は2024年の世界遺産登録を目指しています。高低差50m・段数約140段の石段を登り、「ひこにゃん」に会いに行きませんか。「夢京橋キャッスルロード」には江戸時代の町並みが再現され、土産物店・食事処甘味処等が軒を並べています。彦根市河原町芹町地区の町並みは、国の重要伝統的建造物群保存地区（以下、重伝建）に指定されています。彦根港からは「びわこ観光船オミマリン」が、「竹生島」「多景島」に定期船を運航しています。

・**高宮駅**：多賀大社前駅への乗換駅です。中山道高宮宿がありました。宿の中央に寛永年間に建てられた高さ8・2mの多賀大社一の鳥居と常夜燈や道標があります。麻布の「高宮上布」は、細くて美しく献上品と

して多く使用され、江戸時代の店「布惣」を改装した建物は、宿駅「座・楽庵」になっています。

・**多賀大社前駅**：「お多賀さん」の名で親しまれる「多賀大社」は、古事記によると『祀られておられる伊邪那岐大神と伊邪那美大神の二柱の大神は、神代の昔に初めて夫婦の道を始められ、日本の国土、続いて天照大神をはじめとする八百万の神々をお生みになりました』生命の親神様であることから、古く「延命長寿・縁結び・厄除け」の神様として信仰を集めました。鎌倉〜江戸時代にかけては、武家や民衆にも信仰が広まり、武田信玄や豊臣秀吉が信仰したことでも知られます。秀吉奉納の太閤橋や奥書院の春の枝垂桜・秋の紅葉等も見事で、年間入込客数約178万人を迎えます。お土産に参道で売られる日本一繊細なお菓子「糸切餅」は、柔らかく滑らかな食感がたまりません。御代参街道に沿って敷設された近江鉄道のルーツを辿りながらのお多賀さん参りは双六の上りの様な満足を与えてくれます。



米原駅



鳥居本駅



有川家



彦根駅車庫



多賀大社前駅



彦根城



多賀大社本殿



ひこにゃん

湖東近江路線

路線愛称区間：高宮〜尼子〜豊郷〜愛知川〜五箇荘〜河辺の森〜八日市

・**尼子駅**：「在士高虎公園」は、藤堂村出身の藤堂高虎所縁の地に造られた公園で、高虎の騎馬像や大坂城築城の際の残念石や駒止石があります。車で8分の「道の駅せせらぎの里こうら」は年間入込客数約42万人を迎えます。

・**豊郷駅**：「伊藤忠兵衛記念館」は大手商社の伊藤忠丸紅の創始者初代伊藤忠兵衛の本家を開放したものです。「豊郷小学校旧校舍群」は丸紅商店の専務であった古川鉄治郎より1937（昭和12）年に寄贈され、ヴォーリズ建築の校舎は東洋一の小学校・白亜の教育殿堂として名を馳せました。アニメ「けいおん！」の校舎のモデルとして聖地巡礼にファンが訪れています。

・**愛知川駅**：中山道愛知川宿がありました。「まちかど博物館」、大正時代のレトロな建物の「近江上布伝統産業会館」、謎に包まれたびん細工の「愛知川びんてまり館」や、きんかん大福で有名な「老舗しろ平」等、見所一杯です。近くを流れる愛知川にはイギリスの橋梁技術で造られた、明治末期建設の鉄道用トラス橋梁として滋賀県下で唯一現存する

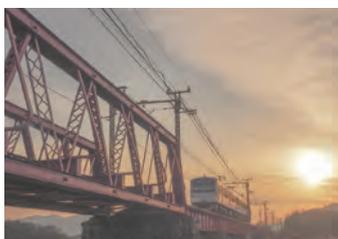
「愛知川橋梁」が



豊郷駅



伊藤忠兵衛記念館



愛知川橋梁



豊郷小学校旧校舍群

あり登録有形文化財です。

・**五箇荘駅**…五箇荘金堂の町並みは、重伝建に指定される近江商人発祥地の一つで、五箇荘商人の町として、昔懐かしい町並みにレトロな商人屋敷や蔵が立ち並びます。近江商人を描いた小説家の外村繁郎・百貨店王の中江準五郎邸・「スキー毛糸」の藤井彦四郎邸・外村宗兵衛や中江富十郎が過ごした邸宅や「金堂まちなみ保存交流館」等、近江商人の暮らしやルーツを探ってみましょう。

・**八日市駅**…東近江市は、鈴鹿の山から琵琶湖迄続く広い市で、木地師やガリ版が生まれた自然と歴史が多く詰まっています。駅舎2階に近江鉄道ミュージアムがありマスケットキャラクター駅長「がちゃこん」に会えるかも。「世界風博物館東近江大風会館」は、日本一の大きさを誇る百畳敷大風の実物展示や、世界の風約600点が展示されています。バス20分の「道の駅あいうまーガレットステーション」には年間入込客数約78万人を迎えます。聖徳太子が創建したとされる湖東三山の一つ国指定史跡の県内最古の寺院「百済寺」があります。更に八風街道を車で行くと、紅葉の名所「永源寺」、濁りワインで人気の「ヒトミワイナリー」、牧場直営のジェラートショップ「池田牧場」があります。



五箇荘あきんど通り



がちゃこん



八日市駅



道の駅あいうまーガレットステーション



モハ800形 近江十景トレイン

万葉あかね線

路線愛称区間…八日市〜新八日市〜太郎坊宮
前〜市辺〜平田〜武佐〜近江八幡

・**新八日市駅**…1922(大正11)年に建設された和洋折衷の木造2階建駅舎は、かつて湖南鉄道本社が入り、湖東内陸部の繁栄や飛行場への往来の賑わいが伺えます。映画のセットのような雰囲気、よくメディアに取り上げられます。

・**太郎坊宮前駅**…山岳信仰発祥の地と云われる太郎坊山(赤神山)は、聖徳太子が神様に祈りをささげたと云われる霊山です。勝利と幸福を授けてくれる神社が「太郎坊宮」(太郎坊・阿賀神社)です。太郎坊はこのお社を守護する天狗のことで、京都の鞍馬山の次郎坊は弟天狗と云い伝えられています。長い階段を行くと二つに分かれた夫婦岩があり原始信仰の磐座をそのまま伝えています。勝運の神様として多くのスポーツ選手が参拝され、お守りの手作り体験も出来ます。千日祭や火焚祭等には参拝客で賑わい、年間入込客数約50万人を迎えます。

・**市辺駅**…船岡山を囲む田園地帯の蒲生野は、大津京



新八日市駅



新八日市駅ホーム側



太郎坊宮



陸軍八日市飛行場掩体壕跡



万葉の舞台 蒲生野



近江八幡新町通り

時代万葉歌人の舞台でした。大津京に都を移した天智天皇と、妃の額田王、大海人皇子の三人が揃った遊獵は、「茜さす紫野行き標野行き野守は見ずや君が袖振る」(額田王)『紫草のほへる妹を憎くあらば人妻故にわれ恋ひめやも』(大海人皇子)と万葉集に収められた相聞歌の舞台です。「万葉の森船岡山公園」には、相聞歌の歌碑や蒲生野での遊獵を描いた巨大なレリーフがあります。

・**武佐駅**…中山道武佐宿がありました。八風街道は、この武佐宿から八日市を抜け三重県へと続きます。中山道がまだ東山道と呼ばれた鎌倉時代、源親行の東西紀行の中に『ゆき暮れぬれば むさ寺という山寺あたりに泊まりぬ。秋風、夜吹くままに身にしみ』とあります。参勤交代の大名行列・皇女和宮・朝鮮人使節の一行等が、泊まったとのこと。

・**近江八幡駅**…JR東海道線とも線路は繋がります。近江八幡市は、安土城から織田信長が天下統一を夢見た地で、豊臣秀吉の甥秀次が築いた八幡山城の城下町は商いの町として発展しました。風情溢れる昔ながらの町並みが残る商人屋敷の新町通りは、重伝建に指定される近江商人発祥地の一つです。八幡山城のお堀の「八幡堀」は、年間入込客数約37万人を迎えます。近江商人の守護として篤く信仰された「日牟禮八幡宮」では国の選択無形民俗文化財とされる「左義長まつり」と「八幡まつり」が行われ、年間入込客数約72万人を迎えます。近江鉄道の八幡山ロープウェイで登ると八幡山城址からは近江八幡市内や琵琶湖が望めます。町中



八幡堀



ラ・コリーナ近江八幡



近江八幡水郷

を迎えます。琵琶湖上には世界でも珍しい淡水湖の有人島「沖島」があります。また西国三十三所観音霊場の「長命寺」と「観音正寺」があります。

には建築家ヴォーリズが手掛けたレトロモダンな建物が沢山あります。近江八幡の水郷は、重要な文化的景観に指定されています。近くには進化し続ける食の総合ファーム「ラ・コリーナ近江八幡」が県内一の年間入込客数約323万人

水口・蒲生野線

路線愛称区間…八日市〜長谷野〜大学前〜京セラ前〜桜川〜朝日大塚〜朝日野〜日野〜水口松尾〜水口〜水口石橋〜水口城南〜貴生川

・日野駅…日野町は、近江商人発祥地の一つで日野商人の町として今も城下町の名残を感じる美しい町並みが残ります。近江の名山綿向山や、群生が珍しい県花で国の天然記念物の「鎌掛谷ホンシヤクナゲ群落」があり、戦国武将蒲生氏郷の故郷です。バス10分の馬見岡綿向神社では毎年5月に華麗な「日野曳山祭」が行われます。近くには「近江日野商人ふるさと館」（旧山中正吉邸）や「近江日野商人館」があります。秋は日野菜漬の最盛期です。

・水口駅…1585（天正13）年豊臣秀吉が家臣の中村一氏に命じ大岡山（古城山）に水口岡山城を築城させました。2017（平成29）年城跡は「水口岡山城跡」として国の史跡に指定されています。

・水口石橋駅…東海道水口宿がありました。踏切近くの三筋の辻に「からくり時計」があり、真ん中の道が東海道で、1km進むと三筋の道は高札場で一緒になります。広重の浮世絵東海道五十三次に描かれた「水口干瓢」は、真夏の最盛期には10kg程の大きくなり、昔ながらの製法で作られる甘くて柔らかい干瓢です。

城で二条城の作事と並行し小堀遠州が監督したと云われます。天守が置かれぬ本丸と二の丸からなる京の二条城と同じ構造で、水口御茶屋と云われ將軍の宿泊所でした。現在は、二重の隅櫓が復元されて内部は「水口城資料館」になっています。水口神社では毎年4月に水口雛子の「水口曳山祭」が行われます。



日野駅



日野曳山祭



モハ800形



三筋の辻



水口城隔櫓



水口曳山祭



貴生川駅



モハ100形 貴生川駅ホーム

列車を待っているランドセルを背負った子供達が現れ反対側に消え去りました。貴生川駅駅舎内が学童の通学路になっています。

*おわりに

西武鉄道沿線に住む私達夫婦にとって近江鉄道の旅は「聖地巡礼」のようです。沿線には美味しい酒蔵も沢山あり、既に何度となく訪ねましたが、今回は違う側面から見たら面白いのではと沿線を巡ってみました。すると予想以上に古い歴史スポットや、これまで何度も訪れた駅にさえた新たな発見があり新鮮に感じられました。鉄道が好きな私の望みは、早くして便利で楽しい鉄道です。JR線と相互乗り入れしJR車両が近江鉄道を走る。SLやトロッキ列車風のジョイフルトレイン「ひこにゃん」「がちゃこん」が走る。近江鉄道の米原〜貴生川と信楽高原鐵道の貴生川〜信楽を繋ぎ、信楽〜京田辺（京都府南部）の約30kmに新線を建設、京田辺でJR片町線（木津〜京橋）に接続する（仮称）びわこ京阪奈線構想の実現で湖東線となり、人々がやってくるのが夢です。日本の公共交通の予算は十分といえませんが、交通導入検討、公共交通を守る為には地域の熱意とデータに基づく冷静な判断が必要です。まず人と自然を大切にすることを忘れず、大切な有形無形の文化財と琵琶湖と近江鉄道を守っていただきたいです。

(参考資料)

・河出書房新社各駅停車全国歴史散歩滋賀県 京都新聞滋賀本社編・草思社全国鉄道事情大研究京都滋賀編・美業之日本社ふらりにっぽん鉄道の旅西日本編・滋賀県HP・滋賀県近江鉄道沿線地域公共交通計画原案・近江鉄道HP・近江鉄道令和2年度鉄道車両の移動等円滑化の達成状況

滋賀の酒蔵だより 4

唯一無二の酒は、良質の米から生まれる

— 米作りから始める

「笑四季」の酒造り



笑四季酒造の看板商品
「センセーション（黒）」

東海道水口宿に位置する甲賀市水口町で一八九二年から銘酒「笑四季」を醸しております。笑四季酒造五代目蔵元の竹島充修です。二〇〇八年、結婚を機に蔵に入り、今では醸造から販売、経営すべての責務を負う蔵元杜氏として、皆様に満足いただけるより良い酒を造るべく、日々精進しております。

弊社の代表銘柄は社名と同様の「笑四季」ですが、近年では「センセーション」「モンスター」「マスターピース」といった銘柄の方が、特に関東の皆様には馴染みがおありかもしれません。弊社の酒を手にとっていただくため、個人的な酒名と派手な絵柄を配したラベルで発売したのは二〇一〇年のこと。それ以前の滋賀酒とは一線を画した味わいの酒は、左党の皆さまだけではなく、それまで日本酒に馴染みのなかったお客様にも、日本酒の面白さ、奥深さを知っていただけたのではないかと自負しております。

日本酒の主な原料はご存じの通り米と水です。よりおいしく、納得のいく酒を造るため、二〇一九年から、滋賀ゆかりの酒米「滋賀渡船二号」を種もみから増やすプロジェクトを始めます。無農薬の圃場でしっかりと管理・栽培した種もみを、信頼のおける農家に供給することで県産米の評価、価値を向上させたいと思っています。この取り

組みは、県を挙げて酒米の品質を維持しながら安定した生産ができる仕組み作りを実践している、兵庫県の蔵元や営農組合から学び、現在も事業パートナーとしてお付き合いさせていただいております。

米の味がはっきりと分かる弊社の酒に、質の良い酒米は必要不可欠です。これからも蔵元として酒造技術の向上はもちろんですが、米作りについても真摯に取り組んでいきたいと考えております。

関東の皆さまにおかれましても、笑四季が送り出すユニークな酒名の酒を目にされましたら、ぜひお手に取り味わっていただきたく、よろしくお願い申し上げます。



竹島 充修 蔵元



笑四季酒造 酒蔵全景

えみしき
笑四季酒造株式会社
蔵元 竹島 充修

〒528-0031 滋賀県甲賀市水口町本町1-7-8
TEL : 0748-62-0007 FAX : 0748-62-9545
HP : <https://www.emishiki.com/>

歌舞伎座楽市

KABUKI-ZA RAKUICHI



歌舞伎座楽市

KABUKI-ZA RAKUICHI

国内外から集まる歌舞伎座のインターネット上に商品・店舗・地域等の紹介サイトを新しく開設しました。全国の特産品や銘品を「歌舞伎座楽市」のバイヤーが厳選し、掲載します。



弊社ではWEBサイトにおいて「歌舞伎座楽市」を配信しております。

歌舞伎座楽市

<https://www.kabuki-za.com>

楽市とは、天文18年（1549年）に近江国の六角定頼が、居城である観音寺城の城下町石寺に楽市令を布いたのが初見とされます（「ウィキペディア（Wikipedia）」より引用）。その後織田信長公により全国的な発展を遂げたとされておりますが、弊社も楽市発祥の地滋賀県の恩恵にあやかり、全国各地の観光・商品・店舗を

紹介する「歌舞伎座楽市」を開設いたしました！地方活性化への貢献をめざし、バイヤーが厳選した全国の特産品や銘品を歌舞伎座ならではの視点で紹介。活気溢れる自由で楽しい“歌舞伎座楽市”を観光PRの拠点として、伝統と感動を提供していきます！ご期待ください！



観音寺城の石寺楽市 『ウィキペディア(Wikipedia)』より

かおみせ 「楽天」店

歌舞伎座公式 インターネットショップ



歌舞伎座
公式アカウントご登録方法



一般社団法人地域振興支援「ふるさとのチカラ」／ふるさと代表クラブin滋賀の募集／GINZA歌舞伎座木挽町広場への出店や催事、WEB配信、通販掲載等ご希望の方の支援をいたします。東京滋賀県人会様から御連絡いただければ優先的に対応させていただきます。

事務局より

●東京滋賀県人会HP「いま滋賀」

<https://imashiga.jp/>

県人会のイベント情報や滋賀の文化・風物の連載、各市町のふるさと納税情報などが盛り沢山！会員の皆様からの寄稿も大募集しています！



●東京滋賀県人会Facebook

<https://www.facebook.com/東京滋賀県人会-1013229665488825/>

「ここ滋賀」や歌舞伎座で開催するイベントの最新情報などはこちら！



●YouTube 東京滋賀県人会チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCpiN-9K5TmCqdO7wyEW5KgW>

県人会のイベントのほか、ふるさと滋賀の風景・バーチャル寺社参拝など、県人会ならではの動画コンテンツも充実！



●HP・会報誌への投稿募集

東京滋賀県人会では、会員の皆様からの近況報告、趣味、旅行、日本社会や世界への提言、随想など、バラエティー豊かな投稿記事を募集しています。

現在、特に俳句・川柳などの投稿を大募集しています。投稿いただいた記事は東京滋賀県人会のHP「いま滋賀」に掲載し、その中から選りすぐったものを会報誌にも掲載いたします。皆様のご投稿をお待ちしております。

(HPに掲載された方には、東京滋賀県人会オリジナルQUOカード1000円分を進呈いたします)

投稿先は：

〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-6-20

グランスイート東日本橋スクウェア205号室

東京滋賀県人会事務局 会報誌担当

Mail : tokyo@shigakenjinkai.jp

●編集後記

コロナ禍やロシアによるウクライナ侵攻などの難局に終わりが見えないことに加え、いくつかの衝撃的な事件や電力供給問題など多くの不安な出来事があった半年ではありますが、人々の活動が少しずつ戻りつつあるなど、かすかな兆しも見えるように思えます。そんな中、「滋賀縣人」は第200号の刊行を迎えることができました。いつかこの激動の時代を静かに振り返ることができる日が来ることを祈りつつ、次号からも県人会の活動を鮮やかにお届けしたいと思います。

か ぶか 忍びの里甲賀 鹿深米



公式 SNS

最新の情報をチェックしよう！



 
Instagram
@kafukamai_official
鹿深の農業やごはん画像を発信しています。
定期的に更新しています。
フォローして最新情報をご覧ください

 
facebook
@鹿深サービス
鹿深サービスの全般を発信しています。
更新頻度少なめなので、これから頑張ります

 
YouTube
@鹿深米チャンネル
オープンしたての鹿深米チャンネル
鹿深米に関する動画をアップしています。
チャンネル登録をお願いします。

 
LINE
@鹿深米の LINE
鹿深米の LINE がスタートしました。
お得な情報を配信しています。
お友達登録をお願いします！

鹿深米公式ホームページ

鹿深サービス

検索



株式会社鹿深サービス

滋賀県甲賀市甲賀町相模683-5 ☎0748-88-5799



古都大津京鎮座 湖国総鎮守



近江神宮

第38代天智天皇をまつる近江神宮は、滋賀県民の皆様の御奉賛により昭和15年に御鎮座。本年82年となります。近江神宮は天智天皇の古都、近江大津宮（大津京）跡に鎮座し、社殿は近江造り・昭和造りといわれ、昭和の神社建築の代表として登録文化財となっています。

開運・みちびきの神、産業文化学問の神として崇敬が深く、また漏刻（水時計）・百人一首かるた・流鏝馬で知られ、特に最近では競技かるたをテーマとした漫画・映画「ちはやふる」でよく知られるようになりました。

大津市歴史博物館でミニ企画展「近江神宮造営史—建築技師大洞藤三郎の設計図面から—」開催（9/6～10/30）

近江神宮時計館宝物館

壬申の乱1350年企画展「各地の弘文天皇・大友皇子伝説」
～12月4日まで開催（常設入館料のみ）
開館 9:30～4:30（祝休日以外の月曜休館）
入館料 大人300円 小中学生150円

近江神宮

滋賀県大津市神宮町1-1
京阪石山坂本線近江神宮前駅下車10分
JR湖西線大津京駅下車20分
☎077-522-3725
E-mail oumi@oumijingu.org



近江勸学館（一般財団法人天智聖徳文教財団）

近江神宮境内に設けられた青少年研修宿泊施設。各種会合・宿泊にご利用いただけます。

☎077-524-3905 E-mail tendizaidan@r6.dion.ne.jp



近江牛の老舗「毛利志満」が
上質な近江牛肉と滋賀の旬の食材で組み合わせられる
新しい滋賀の食文化をお届けします。



日本橋ここ滋賀

近江牛毛利志満

OMI-USHI MORISHIMA

TEL. 03-6281-9872

〒103-0027 東京都中央区日本橋 2-7-1（ここ滋賀2階）
東京メトロ・都営地下鉄 日本橋駅:B6、B8 出口すぐ
JR 東京駅:八重洲北口・日本橋口から徒歩 6分

HP





〈榮米おかし〉
 焼塩マヨネーズ味
 100g入り 350円(税別)
 青のり七味味
 100g入り 350円(税別)



『のぞまれるものを
 のぞむかたに…』

近江のこだわり栽培 『榮米』

『滋賀羽二重100%使用のおもちも承っております!』
 ※この広告をご覧になり、ご注文いただいた方には粗品を贈呈いたします。



榮農場

滋賀県栗東市蜂屋 720-2
 TEL 077-552-0353 <http://sakaefarm.jp/>



価格は15,000円(税込み)で、
近江牛A5ランクサーロイン使用。

ONLINE SHOP

《近江牛が描く芸術。》
 大切な人との時間を、もっと特別にしてもらいたい。
 そんな想いから生れたのが『Art Beef Gallery』です。
 日本の伝統的な芸術作品を、美しい近江牛で描きました。
 日本三大和牛のひとつ近江牛、そのA5ランクのみを使用しています。
 脂身と赤身の調和がとれた、見て美しく、食べて美味しい芸術作品を
 ご堪能ください。

日本料理を
 “未来のために変革する”
 という挑戦。



※注目商品としてテレビ他でも紹介されました。
 TBS「まるっとサタデー」/フジテレビ「めざましテレビ」/琵琶湖放送「滋賀経済now」 その他雑誌メディア、WEBメディア多数

ご購入は

ちりりオンラインショップ

検索

本店 〒523-0891 滋賀県近江八幡市鷹飼町560-1
 TEL : 0748-33-5555

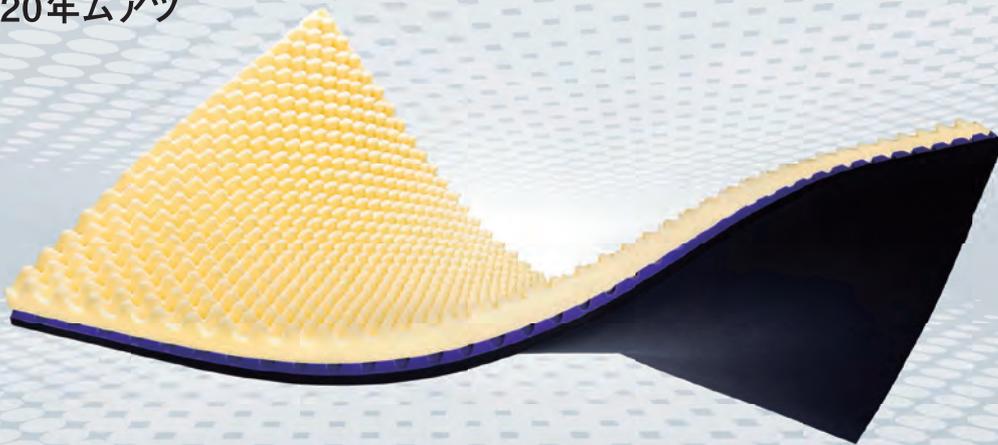
【本店の他、滋賀県、京都府、東京都に6店】

京都つゆしゃぶCHIRIRI 銀座京橋店
 東京都中央区京橋2丁目7番19号
 京橋イーストビルB1F
 tel : 03-5250-1551 fax : 03-5250-1550

京都丸太町つゆしゃぶCHIRIRI 六本木店
 東京都港区六本木 3丁目1番25号
 六本木グランドプラザ2F
 tel : 03-6435-5857

今日も、明日も、そして20年後も
ムアツ史上最高の寝ごちを。

昭和西川の20年ムアツ



muatsu
 Sleep Spa



昭和西川

本社 東京都中央区日本橋浜町 1-4-15 <http://www.showanishikawa.co.jp/> 商品のお問い合わせ (お客様相談窓口) 0120-711-033 受付 10:00~17:00 (土日・祝日・年末年始を除く)



思いやりの気持ちを大切にして、「ありがとう」や「おだいじに」といった言葉をかけ合い、コロナ禍の困難を乗り越えていきましょう。





滋賀のリズムにふれて
 心のリズムをととのえる旅へ。
 滋賀・びわ湖ニューツアーリズム

公益社団法人びわこビジターズビューロー
 〒520-0806 滋賀県大津市打出浜 2 番 1 号「コラボしが21」6階

TEL: 077-511-1530

滋賀 シガリズム

検索

詳細はこちら
 スマホ・タブレット
 からでも OK!!



滋賀竜王・岡喜牧場直営

近江牛 岡喜 日本橋店

日本最古のブランド和牛 近江牛

COREDO 日本橋 4 階

〒103-0027 東京都日本橋 1 丁目 4-1

☎03-6262-1329

近江牛 岡喜の
 アプリダウンロード
 はこちら



Download on the
 App Store

Google Play
 で検索

で検索

岡喜

※iPhone、Android でこちらのQRコードよりダウンロードが出来ます。



<https://www.sennaritei.co.jp/>

近江肉は
中仙道を江戸へ



やっぱり
滋賀が
おいしい

風土はFOOD!

～滋賀のおいしさ、いままでもこれからも～

「身土不二 ～しんどふじ～」という言葉があります。身体と土は一对であり、生まれ育った地域の食べ物は、その人の身体に良いという意味だそうです。まさに風土はFOOD
千成亭は、近江で育まれた近江牛を使い、日本料理の伝統を縦糸に、時代の感性を横糸に滋賀のおいしさをいままでもこれからも大切につなげてゆきます。

～すてきな味で、いいおつきあい～



株式会社

千成亭風土

SENNARITEI FOOD

本社 〒522-0041 滋賀県彦根市平田町808
TEL / 0749-26-2299

祝「滋賀縣人」創刊200号 おめでとうございます

コロナ退散

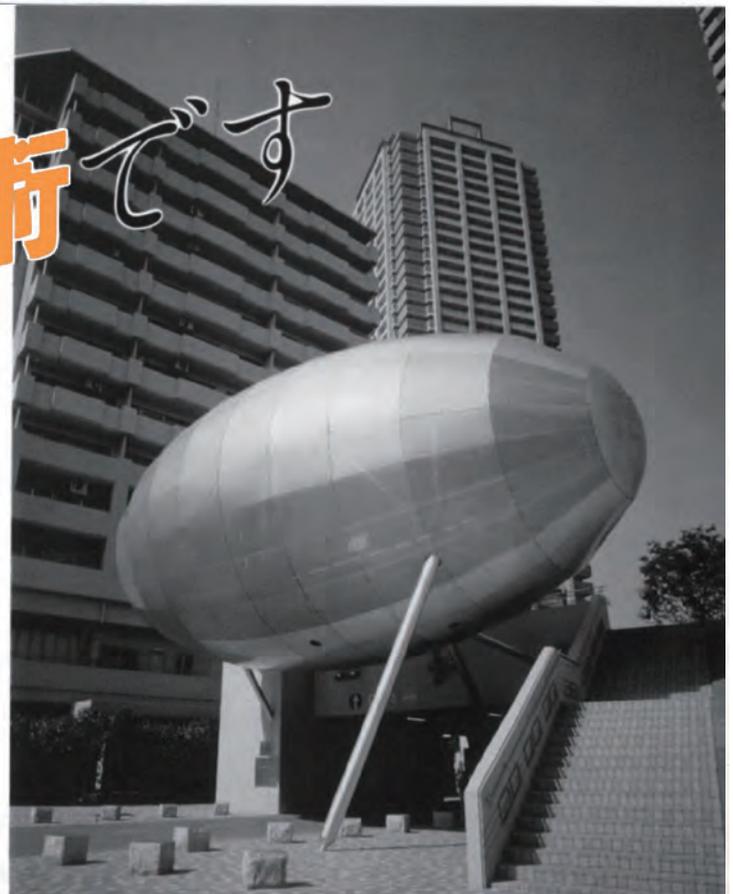


南無阿弥陀仏

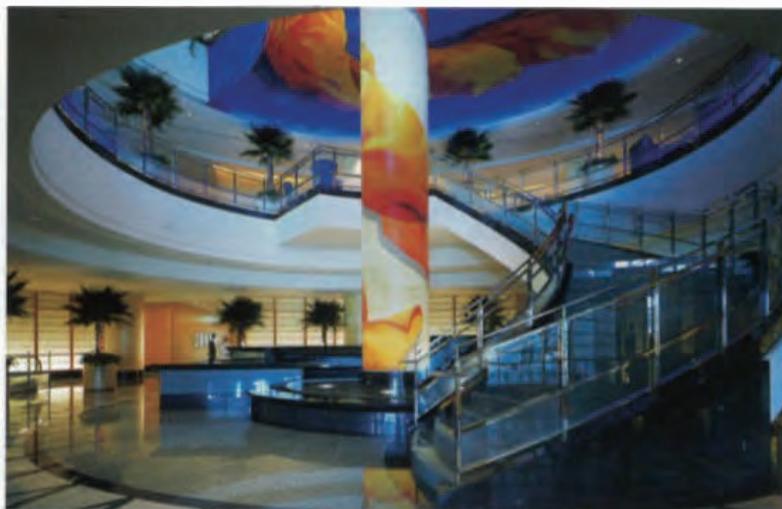
一般財団法人東日本橋真宗会堂維持財団

売りものは・・・
発想と**技術**です

金属装飾金物の
新分野を目指します。



タウンゲート



ホテルメインロビー

装飾金物の伝統技術を次世代へ・・・



江州技研株式会社

本社 〒111-0052
東京都台東区柳橋2丁目19番地10号
第2東商センタービル2号館 1F・2F
TEL (03)5825-6191(代)
FAX (03)5825-6293

滋賀県内の主な事業用地（ご紹介可能用地及び計画中の用地）

2022年7月1日現在

湖西地域

①②高島市

マキノ町西浜用地

①所在地：高島市マキノ町西浜地先
開発可能面積：8ha(農地)

安曇川町南船木用地

②所在地：高島市安曇川町南船木地先
開発可能面積：2.6ha(農地)

湖北地域

⑥長浜市

相撲町用地

⑥所在地：長浜市相撲町地先
用地面積：4.2ha

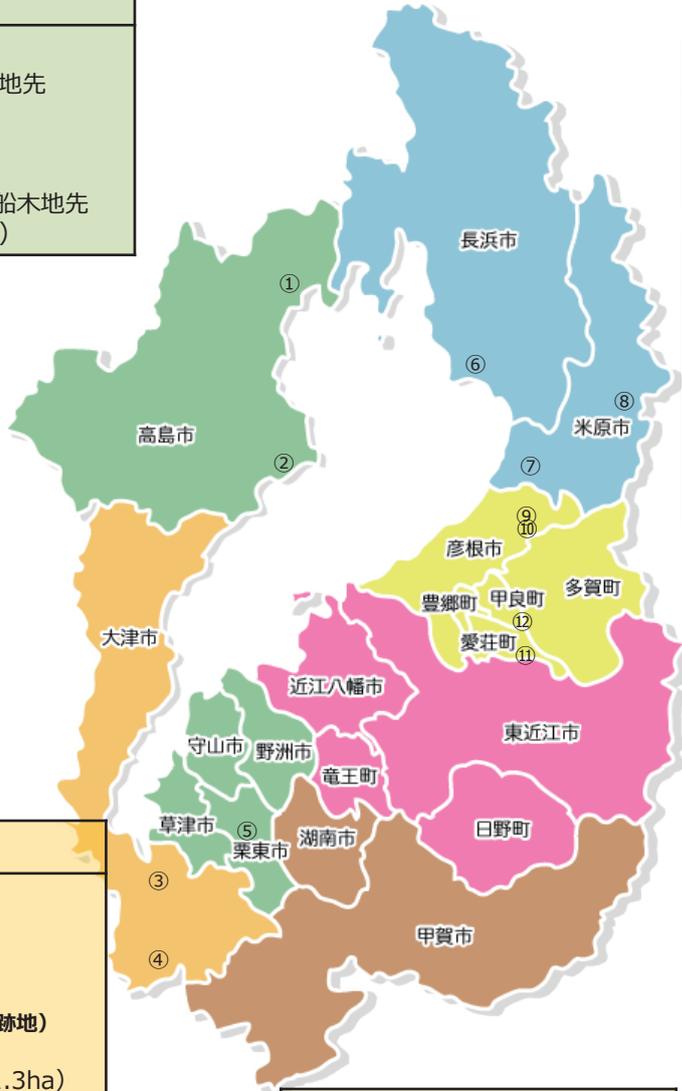
⑦⑧米原市

米原工業団地

⑦所在地：米原市三吉地先他
開発可能面積：2.5ha（農地）

柏原東部工業団地

⑧所在地：米原市柏原地先
開発可能面積：7.3ha(農地)



大津地域

③④大津市

大津市栗林町用地

③所在地：大津市栗林町地先
用地面積：1.0ha [1区画]

大石地区（大津クリーンセンター跡地）

④所在地：大石中六丁目
用地面積：1.9ha（平地約1.3ha）

湖東地域

⑨⑩彦根市

原町用地

⑨所在地：彦根市原町
用地面積：0.94ha

野田山町地区

⑩所在地：彦根市野田山町
用地面積：約10ha（農地）

湖南地域

⑤栗東市

栗東市上鉤・下鉤・手原・蜂屋地区事業用地

⑤所在地：栗東市上鉤・下鉤・手原・蜂屋
用地面積：0.36ha(2区画)

⑫甲良町

甲良町池寺

⑫所在地：甲良町池寺地先
開発可能面積：29ha（山林）

計画中

⑪愛荘町

蚊野外用地

⑪所在地：愛荘町蚊野外地先
用地面積：5.2ha

滋賀県の産業用地、その他企業立地に関するお問い合わせは

滋賀県企業立地推進室 まで

滋賀 企業立地

検索



TEL 077(528)3792 / FAX 077(528)4876
E-mail fd00050@pref.shiga.lg.jp

歌舞伎座の地下

こ びき ちょう
本 換 町 広 場

お土産処 お食事処 お弁当処を常設し
各種屋台が約 20 台出店
ウキウキワクワクの楽しい広場です！



東京メトロ日比谷線・都営浅草線「東銀座」駅直結

歌舞伎座サービス株式会社

東京都中央区銀座 4-12-15 TEL 03-3545-6554
営業時間 10:00~18:00